



平成21年度

事業報告書

SENSHU UNIVERSITY

学校法人 専修大学

学校法人専修大学 平成21年度事業報告書

【根拠条文】	私立学校法第47条
【事業年度】	平成21年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
【法人名】	学校法人専修大学
【英訳名】	Senshu University Educational Foundation
【代表者】	理事長 日高 義博
【法人所在地】	〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8-1
【URL】	http://www.senshu-u.ac.jp/index.html
【事務連絡先】	総合企画広報室 総合企画課 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 電話 03-3265-5839

目次

理事長挨拶		1
建学の精神と21世紀ビジョン		2
沿革		3
I 法人の概要	1 学校法人専修大学組織図	4
	2 所在地	5
	3 学生数(平成21年5月1日現在)	5
	4 志願者数の推移(学部・学科)	7
	5 役員・教職員の状況(平成22年3月31日現在)	7
II トピックス	専修大学	9
	石巻専修大学	10
	専修大学北海道短期大学	11
III 事業の概要	主な事業の目的・計画及び進捗状況	
	1 創立130年記念事業の推進	12
	2 教育・研究力の強化	14
	3 学生支援の充実	17
	4 社会への貢献活動の充実	18
	5 経営基盤の強化	20
IV 決算の概要	1 資金収支計算書	22
	2 消費収支計算書	25
	3 貸借対照表	27
	4 学校法人が作成する計算書類について	29
V その他の資料	1 平成21年度卒業・修了者数	30
	2 卒業後の進路(学部・学科)	31
	3 公開講座等の開講状況	33
	4 平成21年度学費	35
	5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校(平成22年3月31日現在)	37
	6 付属校	37

■表紙に掲載した写真画像は、専修大学が平成21年度に執り行った、主だった「創立130年記念事業」(詳細は、「III 事業の概要」(12頁以降)に掲載)の光景である。なお、上から5枚目の写真は、三好英輔氏提供のもの。

*本報告書について、第三者による無断複製・転用・公開を禁止します。



学校法人専修大学の平成21年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告いたします。

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組んでいます。平成21年度は、専修大学が9月16日に創立130年を迎えたことから、先達が繋いだその輝かしい歴史と伝統を顕彰し、社会の負託に応え続けた「大学力」を広範に発信するため、種々の記念事業を精力的に展開しました。さらに、専修大学、石巻専修大学及び専修大学北海道短期大学は、策定した事業計画に基づき、教育・研究力の強化、学生支援の充実、社会への貢献活動の充実及び経営基盤の強化を推進いたしました。

専修大学は、平成21年度に、教育組織の拡充に向けた準備を遂行し、平成22年度から待望の新学部である「人間科学部」を開設、文学部は、新学科「人文・ジャーナリズム学科」を含む7学科へと再編成することになりました。大学院においても平成22年度から商学研究科に会計学専攻を新設し、修士課程・博士後期課程ともに、2専攻制になります。これら学問領域の充実により、建学の精神の新たな体现者が生まれ、専修大学の躍動に弾みをつけるものと期待されます。研究については、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択されたプロジェクト「持続的発展に向けての社会関係資本の多様な構築：東アジアのコミュニティ、セキュリティ、市民文化の観点から」をはじめ、社会知性開発研究センターにおいて6つの研究拠点が稼働し、その研究成果は、公開講座やシンポジウム等で広く発信することができました。教育・研究環境についても、大学院心理教育相談室機能と教員研究室からなる生田11号館を9月に完成させ、また、環境負荷の低減に寄与する「Windows®7」搭載のパソコンを約2,000台導入するなど、日本の大学を先導する施設設備の整備に尽力しました。

石巻専修大学は、学生の学習意欲を喚起し、その学びによる将来方向を示すべく、学部における全ての学科にコース制を設けました。研究の高度化については、平成21年4月に「共創研究センター」を設置し、地域が抱える諸課題の解決に向けた研究に取り組んでいます。修学環境についても、自宅通学支援バスの路線を拡大し、利便性や安全性を高めるなど、学生の目線に立ち、且つ地域に根ざした改革を推進させました。

専修大学北海道短期大学は、みどりの総合科学科及び商経社会総合学科が、学科完成年度後の達成度評価においても「地域総合科学科」としての適格認定を受けました。さらに、ハスカップネットワーク美唄との連携により発足した「専修大学ハスカッププロジェクト」の活動を本格化させるなど、地域と共にある教育を実践しています。

さて、このたび展開した「専修大学創立130年記念事業」は、いずれの事業も大きな反響のなかで成功裏に終えることができ、「専修人」としての誇り、そして絆は、極めて強固なものとなりました。ご支援、ご協力いただきました関係各位には、心からお礼申し上げます。

この爽り多き記念事業を通じて、私たち「第5世代」の専修人は、来るべき創立150年に向け、飛躍する勇気と活力を得ました。今日から7・8年後には、18歳人口のさらなる激減が予測され、大学間競争が一層の激しさを増すことは必至ですが、私たち「第5世代」は、「礎固し」と校歌に歌われた人間教育の場を次の世代へと継承するために、大学としての品格を保ちながら、従前にも増して「社会知性の開発」に専心し、「大学改革の時代」を乗り越えていく所存です。



学校法人専修大学理事長 **日高義博**



建学の精神と21世紀ビジョン

専修大学は、1880年（明治13年）に若き創立者である相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格の4人によって創立されました。幕末の動乱を生き抜いた4人の創立者は、明治維新後、米国のコロンビア、エール、ハーバード、ラトガースの各大学に留学し、強靱な精神力を持って約8年の勉学に励みました。海外から黎明期にあった日本の国の形を考え、日本の発展のために、修得した最新の知見を社会に還元しようとした彼らは、高等教育によって社会の屋台骨を支える有為な人材を育成するという「熱き思い」を抱いたのです。そして帰国後、邦語により経済学や法律学を教授するために、本学の前身である「専修学校（専修大学の前身）」を創立しました。明治10年代は、明治政府による法律の整備が進み、憲法制定や条約改正を求める声も一段と大きくなった時期でもあり、いち早く近代法の考え方をわが国に根付かせようとした本学は、5大法律学校の一つとして重要な役割を担いました。

爾来、本学は、関東大震災や戦禍などによって極めて困難な状況に直面しながらも、学窓の灯火を守り続けてきました。21世紀に入った今日においては、私学全体に降りかかる大きな荒波を乗り越え、更なる発展を遂げなければなりません。本学の進むべき指針を熟慮するにあたり、常に創立の原点に立ち返ることで、自ずと道は拓かれます。その指針として、本学は、建学の精神を現代的に捉え直した「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を21世紀ビジョンに据えました。「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」をどう具現化するのかについては、学部あるいは研究科によって方法論も力点も自ずから異なりますが、各部局において、積極的かつ真摯な取り組みがなされています。



相馬 永胤
(そうま ながたね)



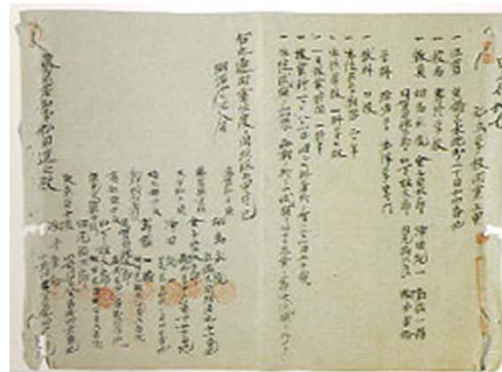
田尻 稲次郎
(たじり いなじろう)



目賀田 種太郎
(めがた たねたろう)



駒井 重格
(こまい しげただ)



専修学校（専修大学の前身）の開業上申

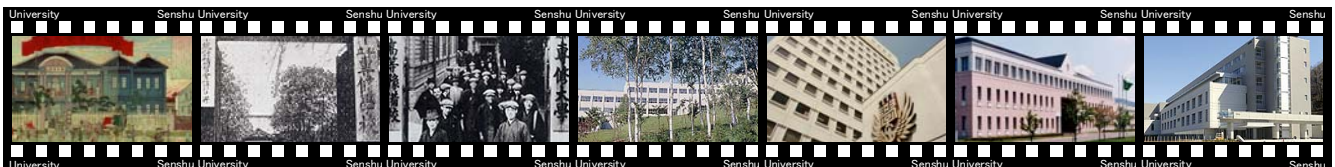
専修大学21世紀ビジョン
「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」

1880年	明治13年	日本語による経済・法律専攻の専修学校（夜間2年制）設立 ※1 京橋区南鍋町の仮校舎から木挽町の本校舎へ移る ※2
1885年	18年	神田区今川小路の校地（現在の神田校舎敷地）に校舎を新築、移転 ※3
1904年	37年	専門学校令による専修学校となる
1913年	大正2年	校名を私立専修大学と改称
1919年	8年	校名を専修大学と改称
1922年	11年	大学令により大学として認可
1923年	12年	大学令による専修大学を設置、経済学部を開設
1927年	昭和2年	法学部設置
1948年	23年	川崎市生田に校地・建物を取得、新校舎に改装
1949年	24年	学制改革による新制大学となり商経学部・法学部の2学部で発足
1952年	27年	大学院経済学研究科修士課程設置
1954年	29年	大学院法学研究科修士課程設置
1955年	30年	大学院経済学研究科・法学研究科博士課程設置
1962年	37年	経営学部設置
1963年	38年	商経学部を経済学部と改称
1965年	40年	商学部設置
1966年	41年	文学部設置
1968年	43年	農業機械科・農業土木科・農業経営科を擁し専修大学美唄農工短期大学開学
1971年	46年	大学院文学研究科修士課程設置 大学院文学研究科博士課程設置
1973年	48年	専修大学美唄農工短期大学を専修大学北海道短期大学と改称し、土木科・商科・農業機械科の3科に改組
1975年	50年	大学院経営学研究科・商学研究科修士課程設置
1977年	52年	大学院経営学研究科・商学研究科博士課程設置
1979年	54年	創立100年記念式典を日本武道館で挙行
1983年	58年	専修大学北海道短期大学造園林学科・経済科設置
1989年	平成元年	理工学部・経営学部を擁し石巻専修大学開学
1993年	5年	石巻専修大学大学院理工学研究科、経営学研究科修士課程設置
1995年	7年	石巻専修大学大学院理工学研究科博士後期課程設置
1997年	9年	石巻専修大学大学院経営学研究科博士後期課程設置
2001年	13年	ネットワーク情報学部設置
2003年	15年	専修大学北海道短期大学土木科を環境システム科、農業機械科を農業科学科、造園林学科を園芸緑地科に名称変更
2004年	16年	専門職大学院法務研究科（法科大学院）法務専攻設置
2006年	18年	専修大学北海道短期大学環境システム科・農業科学科・園芸緑地科をみどりの総合科学科に、商科・経済科を商経社会総合学科とし、2学科編成に改組 専修大学サテライトキャンパス設置
2009年	21年	専修大学創立130年 生田11号館竣工

※1 1880年（明治13）9月に開校した専修学校（専修大学の前身）は日本最初の経済専門学校であり、初の私立法律専門学校であった。この当時法律学を教える高等教育機関は、東京大学の法学部と司法省の法学校の2つにすぎず、英語や仏語で教授していたのに対し、専修学校は邦語で教授するという画期的な授業を行った。

※2 現在、京橋区木挽町2丁目14番地（現在の中央区銀座3丁目、歌舞伎座裏）には専修大学発祥の地碑が建立されている。

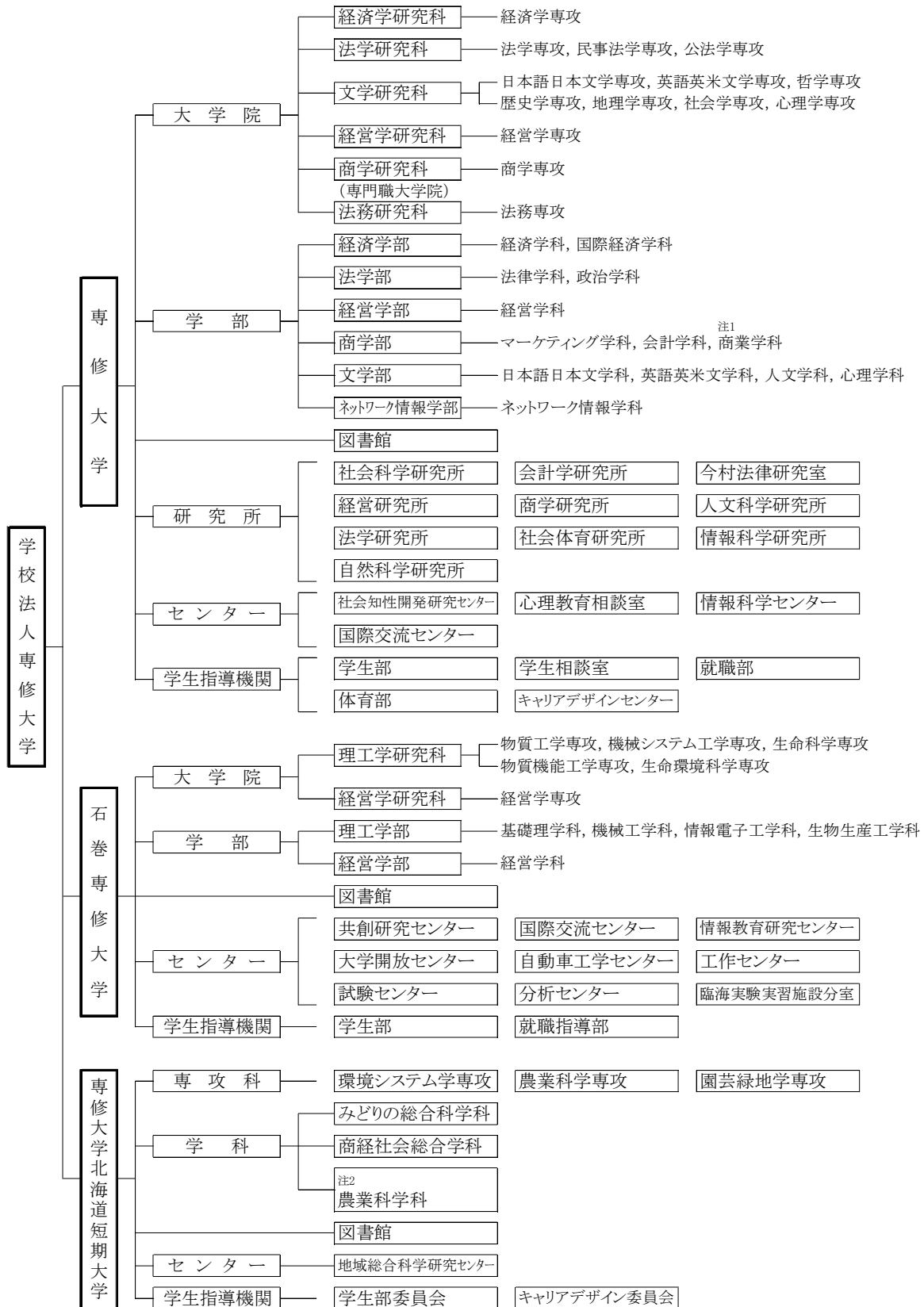
※3 1884年（明治17）、旧旗本屋敷跡を校舎の地として買い求め、翌年神田区今川小路に自前の校舎を新築した。このとき、元々あったと思われる黒塗りの冠木門（柱の上方に横木を渡した屋根のない門）を校門に使用にしたことから、当時、東大の「赤門」に対して「黒門」といわれ、黒門といえは専修学校を意味することとなった。





I 法人の概要

1 学校法人専修大学組織図



注1: 商業学科は、平成18年4月から学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。
 注2: 農業科学科は、平成18年4月から学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。

2 所在地

- (1) 専修大学
 神田キャンパス 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
 生田キャンパス 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
 サテライトキャンパス 〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸2130-2
 伊勢原総合グラウンド 〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡163
- (2) 石巻専修大学
 石巻キャンパス 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1
- (3) 専修大学北海道短期大学
 美唄キャンパス 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1
- (4) セミナーハウス・研修館
 箱根セミナーハウス 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根字大芝103
 伊勢原セミナーハウス 〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡1080-1
 軽井沢セミナーハウス 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町南軽井沢1398
 山中湖セミナーハウス 〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中字南中原273-18
 富士山中湖セミナーハウス 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野字切詰479-56
 御宿セミナーハウス 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田705
 生田研修館 〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-9
 国際研修館 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枋形5-1-1
 相馬記念会館 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1

3 学生数(平成21年5月1日現在)

- (1) 専修大学

(学部)

	学 部	学 科〔専攻〕	入学定員	収容定員	入学者数	現 員	
一 部	経済	経済	500	2,000	548	2,623	
		国際経済	200	800	244	988	
	法	法律	560	2,240	631	2,890	
		政治	150	600	165	659	
	経営	経営	560	2,240	649	2,913	
	商	商業	—	—	—	134	
		マーケティング	470	1,880	557	2,320	
		会計	200	800	242	998	
	文	日本語日本文					
			日本語学専攻	60	240	94	331
			日本文学文化専攻	110	440	136	569
			英語英米文	140	560	154	706
		人文					
			哲学人間学専攻	55	220	60	275
			歴史学専攻	80	320	109	429
			環境地理学専攻	45	180	61	228
			社会学専攻	80	320	87	407
		心理	50	200	55	254	
ネットワーク情報	ネットワーク情報	240	960	293	1,173		
一 部	部 計	3,500	14,000	4,085	17,897		
二 部	経済	経済	150	600	165	658	
	法	法律	200	800	224	905	
	商	商業	—	—	—	74	
		マーケティング	150	600	187	642	
	二 部	部 計	500	2,000	576	2,279	
学 部 合 計		4,000	16,000	4,661	20,176		

※商学部において募集を停止した学科の定員は表記していない。

(大学院)						
	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員
修士	経済学	経済学	30	60	14	42
	法学	法学	25	50	13	26
	文学	日本語日本文学	10	20	7	27
		英語英米文学	5	10	5	9
		哲学	5	10	4	7
		歴史学	10	20	6	19
		地理学	5	10	3	4
		社会学	5	10	5	9
		心理学	10	20	13	27
	経営学	経営学	20	40	18	42
商学	商学	15	30	21	57	
修士課程計			140	280	109	269
博士後期	経済学	経済学	3	9	2	14
	法学	民事法学	3	9	1	3
		公法学	3	9	0	6
	文学	日本語日本文学	3	9	1	12
		英語英米文学	2	6	1	5
		哲学	2	6	1	3
		歴史学	5	15	2	16
		地理学	3	9	0	1
		社会学	3	9	1	3
		心理学	3	9	1	4
	経営学	経営学	3	9	1	1
商学	商学	3	9	1	9	
博士後期課程計			36	108	12	77
大学院合計			176	388	121	346

(専門職大学院)						
	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員
専門職学位	法務	法務	60	180	47	138

※収容定員について

法学未修者18人×3ヵ年、法学既修者42人×2ヵ年であるため実収容定員は138人となる。

(2) 石巻専修大学

(学部)						
学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	入学者数	現員
理工	基礎理	65	8	276	38	173
	機械工	45	8	196	54	224
	情報電子工	45	8	196	47	171
	生物生産工	45	8	196	34	215
経営	経営	240	35	1,030	279	1,204
学部合計		440	67	1,894	452	1,987

(大学院)						
	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員
修士	理工学	物質工学	5	10	5	10
		機械システム工学	5	10	0	1
		生命科学	5	10	8	17
	経営学	経営学	5	10	4	9
修士課程計			20	40	17	37
博士後期	理工学	物質機能工学	3	9	0	0
		生命環境科学	3	9	1	2
	経営学	経営学	3	9	0	3
博士後期課程計			9	27	1	5
大学院合計			29	67	18	42

(3) 専修大学北海道短期大学

(学科)

学 科	入学定員	収容定員	入学者数	現 員
みどりの総合科学科	80	160	53	107
商経社会総合学科	120	240	75	143
農業科学科	—	—	—	1
合 計	200	400	128	251

※募集を停止した学科の定員は表記していない。

(専攻科)

専 攻 科	収容定員	入学者数	現 員
環境システム学専攻	5	0	0
農業科学専攻	5	0	0
園芸緑地学専攻	5	0	0
合 計	15	0	0

4 志願者数の推移(学部・学科)

	H18	H19	H20	H21	H22
専 修 大 学	29,417	33,934	35,117	33,779	38,006
石 巻 専 修 大 学	1,182	983	848	682	815
専修大学北海道短期大学	233	178	150	155	169

5 役員・教職員の状況(平成22年3月31日現在)

(1) 役 員

総 長 (空 席)

理 事 長 日高 義博〔専修大学長〕

専務理事 富山 尚徳

常務理事 今野 健吾 佐藤 猛 田中 實 松木 健一 湯浅 敏明

理 事 小豆畑 孝 甘竹 秀雄 荒木 敏夫 市川 辰雄 伊東 洋三

内野 明 岡村 誠男 坂田 隆〔石巻専修大学長〕

坂本 武憲 寺本 千名夫〔専修大学北海道短期大学長〕

波岡 實 西島 篤師 瓶子 長幸 宮岡 孝之 室井 義雄

桃野 直樹 矢野 建一

常勤監事 白根 修

監 事 小宮多喜次 吉田 元亮 (五十音順)

(2) 評議員

学校法人専修大学寄附行為第23条第1項による選任区分	現員数
第1号 総長(寄附行為第5条の規定による推戴がある場合のみ)・学長・短期大学長	3
第2号 卒業生のうちから評議員会において選任された者	43
第3号 職員のうちから理事会において選任された者	19
第4号 学識経験者として、理事会において選任された者	10

(3) 顧問

現員数 2人

(4) 教 員

専修大学

	専 任						兼任	任期制 助手	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計			
経 済 学 部	59	13	4	0	0	76	121	0	197
法 学 部	42	22	2	0	0	66	108	2	176
経 営 学 部	32	20	3	0	0	55	93	0	148
商 学 部	49	17	5	0	0	71	111	0	182
文 学 部	68	21	1	0	0	90	173	2	265
ネットワーク情報学部	21	7	1	0	0	29	47	0	76
法 科 大 学 院	16	1	0	0	0	17	24	0	41
併 任	4	0	0	0	0	4	0	0	4
計	291	101	16	0	0	408	677	4	1,089

※経済学部兼任には、大学院客員教員(経済学研究科)8名を含む。

※法学部専任教授及び法科大学院専任教授には、法学部・法科大学院併任教員4名は含まない。

※法学部兼任1名・経営学部兼任1名・文学部兼任1名・ネットワーク情報学部兼任2名は、非常勤嘱託を兼ねる。

※法科大学院教授には、特例任用教員1名を含む。

※法科大学院兼任には、法科大学院客員教員17名を含む。

※大学院任期制助手は、所属研究科の基礎となる学部の人数を含む。

石巻専修大学

	専 任						兼任	非常勤 助手	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計			
理 工 学 部	41	16	3	3	1	64	40	1	105
経 営 学 部	18	11	0	0	1	30	23	0	53
計	59	27	3	3	2	94	63	1	158

※理工学部兼任には、特命教員3名、客員教員1名を含む。

※経営学部兼任には、特命教員5名を含む。

専修大学北海道短期大学

	専 任						兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計		
みどりの総合科学科	7	4	0	0	0	11	23	34
商経社会総合学科	15	2	0	0	0	17	9	26
計	22	6	0	0	0	28	32	60

※みどりの総合科学科兼任には、特命教員4名を含む

(5) 職 員

専修大学

区 分	人数
職 員	292
常勤嘱託	47
特別嘱託	2
非常勤嘱託	156
雇 員	62
計	559

石巻専修大学

区 分	人数
職 員	28
常勤嘱託	10
特別嘱託	1
非常勤嘱託	4
雇 員	7
計	50

専修大学北海道短期大学

区 分	人数
職 員	15
常勤嘱託	0
特別嘱託	1
非常勤嘱託	3
雇 員	0
計	19

※職員には、実習助手を含む。

※石巻専修大学出向者は、石巻専修大学の人数を含む。



Ⅱ トピックス

専修大学

ラオス人民民主共和国首相に名誉博士称号授与

ラオス人民民主共和国の発展に尽力するブアソン・ブッパーヴァン首相に対して、専修大学が贈る名誉博士称号贈呈式が、平成21年5月22日、神田キャンパスで行われた。

本学のガウン姿でブアソン首相が登場すると、会場から大きな拍手が沸き起こった。同首相のプロフィールが紹介され、日高義博理事長・学長が歓迎挨拶を行い、名誉博士称号を授与した。同首相は、「ラオス人民民主共和国の社会的・経済的発展と日本との友好関係」をテーマに記念スピーチを行った。



専修大学が名誉博士称号を贈るのは8人目。これまでノーベル平和賞受賞者のジョディ・ウィリアムズさん(米国・平成11年)らへ授与している。

囲碁部の花巻さんが学生本因坊に

囲碁部の花巻未生さん(経済4)が、毎日・佐川急便杯争奪第53回全日本学生本因坊決定戦に出場し、平成21年8月6日に初優勝を決めた。この優勝により、花巻さんは学生本因坊位を獲得した。

NHK「@キャンパス」専修大学が放送

文学部の山田健太准教授ゼミ4年次生有志が、企画・収録・司会進行までを担当したNHKの国際情報番組「@キャンパス」が放送された。



この番組は、大学生による大学生のための情報番組。キャンパス紹介の「1分リポート」など、山田ゼミ生の努力の成果が窺えた。

■ 放送日程

日付	時間	チャンネル
平成21年9月 6日(日)	18:10~18:30	NHK-BS1
9月 7日(月)	0:10~0:30	NHK-BS1
9月11日(金)	23:25~23:45	NHK-ワンセグ2
9月12日(土)	13:15~13:35	NHK-ワンセグ2
9月13日(日)	9:10~9:30	NHK-BS1
9月13日(日)	12:01~12:21	NHK-デジタル教育3

※どの日付も放送内容は同じ。

全国大学簿記対抗 個人・団体ともに1級で1位

平成21年11月7日に、全国118大学3,623人が参加して行われた「2009年秋季第44回大会・全国大学対抗簿記大会」において、エクステンションセンターの会計士講座に学ぶ専大生が快挙を成し遂げた。

個人1級の部で金子和弘さん(商2)が1位に、団体1級の部では、「計修会HIRATETSU/Aチーム」が1位となった。同2級の部でも計修会チームが1位から3位までを独占した。

なお、金子さんには、個人最高の荣誉であるルカ・パチョーリ賞が授与された。

「大学生のベースボールビジネスアワード」で奥瀬ゼミが優秀賞

日本のプロ野球について、ビジネス・マネジメントの面から将来的なビジョンやサービス、経営などを考察する「大学生のベースボールビジネスアワード2009」(主催：(株)読売新聞東京本社/協力：読売巨人軍)で、商学部の奥瀬喜之准教授ゼミに所属する井上友也さん、玉島崇光さん、西屋洋征さん、白男川卓哉さん(いずれも3年次)の「東京ドームをもっと素敵に。」が優秀賞5作品の中に選ばれた。

表彰式は、平成21年11月11日、読売新聞東京本社で行われ、賞状と副賞が授与された。

井上さんらは、アンケート調査を実施し、観客がプロ野球観戦に求めているものは、

「一体感・選手との距離感・臨場感」であると考え、「球場全体に一体感が広がる方法」を提案した。



図書館特別展「二つのモダン 江戸文化とフランス革命」に1,800人

専修大学図書館特別展「二つのモダン 江戸文化とフランス革命」(協賛：(株)紀伊國屋書店、(株)ジュンク堂書店)が、平成21年11月17日から22日まで東京芸術劇場(東京都豊島区)展示ギャラリーで開催され、6日間で1,800人が訪れた。

この特別展では、本学図書館所蔵の江戸時代後期の戯作コレクション「向井家江戸期和本コレクション」とフランス革命期史料コレクションなどの中から253点が展示された。

また、記念講演会「江戸文化、戯作への誘い」では、文学部の板坂則子教授ゼミ生や文学研究科の大学院生が、独自に作成したチラシやブログで宣伝活動を行い、装飾の作成にも励むなど、展覧会を盛り上げた。

なお、創立130年記念歴史展示「創業者同時代展」も同時開催された。



ネットワーク情報学部生が川崎市CMコンテストで優秀賞

川崎市が募集した市のイメージアップCMコンテストで、ネットワーク情報学部2年次の松永陵太さんと王俊傑さんの作品「あなたの場所はどこですか？」が優秀賞に選ばれた。

平成21年12月12日にミューザ川崎で表彰式が行われ、阿部孝夫川崎市長から表彰状が授与された。

明るくゆったりとした雰囲気BGMが印象的なこの作品は、各国の子ども達に、川崎の好きなところを母国語で書いてもらい、最後に「きっと見つかる あなたの場所」という文字が表れる。



「CMを見る視点が変わった」という2人は、次回も一緒にチャレンジしたいと話す。

シンポジウム「大逆事件と知識人」を開催

大逆事件の発生、逮捕から100年目を迎え、同事件を再検証するシンポジウム「大逆事件と知識人」が、平成22年2月6日に神田キャンパスで開催され、120人が聴講した（主催：専修大学今村法律研究室、家永登室長＝法学部教授）。

講演は『大逆事件と知識人－無罪の構図』などを著した日本文芸家協会会員の中村文雄氏による「大逆事件と100年目の真実」、国際啄木学会理事の伊藤和則氏による「吼(ほ)える坂本清馬」、本学法科大学院の矢澤昇治教授による「今村力三郎と大逆事件」、幸徳秋水を顕彰する会会長の北澤保氏による「幸徳秋水と四万十市」。司会は法学部の大谷正教授が務めた。

大逆事件の被告らの弁護に当たった今村力三郎は、人権擁護派の弁護士として知られ、戦後間もない時期に専修大学総長となった。今村法律研究室は、今村の業績を顕彰し、昭和24年に発足した専修大学の研究機関。



【大逆事件】明治天皇暗殺を計画したとして、社会主義者、無政府主義者が一斉弾圧された。うち幸徳秋水ら26人が大逆罪で起訴され、大審院による非公開の裁判で24人に死刑が言い渡された。

軍事郵便を読む新井勝紘ゼミ生 NHKテレビに登場

軍事郵便を読み解き、戦争を考える実習を行う文学部の新井勝紘教授ゼミ生が、NHKニュース「おはよう日本」に出演した（放送日：平成22年3月6日／放送地域：関東甲信越1都9県）。

軍事郵便は、戦時中、出征した兵士が本国の家族などとの間で交わした、もっぱら私信となる郵便物。手紙の内容は、兵士が家族や知人を気遣う思いで溢れ、死と隣り合わせの戦地から送られた手紙は、平和な時代に生きる現代の若者にどう受けとめられているのかを、カメラが丹念に追った。

新井ゼミは、平成21年10月に『ケータイ世代が「軍事郵便」を読む』（専修大学出版局）を発行。また11月には、専修大学サテライトキャンパスで、軍事郵便の展示会「『いのち』の便り展—兵士の心と銃後の想い—」を開催。この企画は、全国紙など3紙に大きく取り上げられた。



石巻専修大学

硬式野球部 6季ぶり4度目の優勝！南東北大学野球連盟2009春季リーグ戦

2009年南東北大学野球連盟春季リーグ戦(1部)は、勝敗の行方が最終戦までもつれ、結果、8勝2敗1分



の戦績を挙げた石巻専修大学が、3年ぶり4回目の優勝を飾った。この優勝により『全日本大学野球選手権大会』への出場を果たした(初戦惜敗)。

日本金属学会賞を受賞

平成21年9月15日開催の(社)日本金属学会秋季大会(第145回)において、東北での金属に関する学術や技術の進歩発達に貢献したことが評価され、理工学部の望月勝美教授が学術貢献賞を受賞した。

経営学部の学生がチャレンジショップをオープン

経営学部の李東勲(イ・ドンフン)准教授ゼミ生有志が、石巻市内の空き店舗を利用して、平成21年10月1日にカフェをオープンさせた。ショップ名は「アンテナ・ジュースカフェHope's(ホープス)」。ショップでは、地場産の野菜などで作るジュースや農作物、水産加工品などを販売している。



「首都圏就職支援バスツアー」

平成21年12月5・6日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開かれた合同企業説明会に、本学から現地までバスを運行し、31名の学生が参加した。

当企画は、厳しい雇用情勢が続く中、強力に学生の就職活動を支援するため、初めて実施した。

女川第一小学校で出前授業を実施(小学生向けカーエレクトロニクス講座)

平成22年2月4日、女川第一小学校(宮城県牡鹿郡)にて、女川第一小、第六小の6年生を対象に、本学の自動車関連出前授業が実施された。



自動車に係る簡単な講義後、「くるま未来体験」(燃料電池自動車の模型を組み立てて走らせよう!)と「熱で車を走らせよう!」(スターリングエンジン)の実験が行われた。

子ども達は、大学の先生の直接指導を受けながら、熱心に取り組んでいた。

クリオネのエサとなる「リマキナ」を調査

理工学部の佐々木洋教授と理工学研究科の秋葉文弘さん、及川泰正さんは、クリオネのエサとなり、また、地球温暖化の影響で絶滅の恐れがある「リマキナ」の採取や実験を、北海道紋別市の海洋交流館「オホーツクタワー」を拠点に行っている。

「リマキナ」は、主にオホーツク海と南極に生育する有殻翼足類で、正式名称はリマキナ・ヘルシナと呼ばれる。この活動は、北海道紋別市の北海民友新聞(平成22年3月2日付1面)でも紹介された。



芳賀教授と川村講師が「世界紳士録2010」に掲載

理工学部の芳賀信幸教授と川村暁講師が「世界紳士録2010」(Marquis Who's Who in the World2010)に掲載されることになった。「世界紳士録」は、世界で最も権威ある紳士録とされており、各国の政府首脳や国際的に活躍する学識経験者のほか、極めて独創性の高い研究活動を行っている理工系の学者も掲載されている。

芳賀教授の専門は、発生生物学と細胞生物学の境界領域。川村講師は、情報セキュリティ(カオスからの疑似乱数生成等)及び産業応用(複数の特許出願等)の業績が評価された。

専修大学北海道短期大学

学生の浅野さんが日本海岸林学会全国大会で学会発表

平成21年11月7・8日に開催された日本海岸林学会研究発表会(会場：千葉県津田沼市)において、浅野ひかるさん(みどりの総合科学科2年)が「佐賀県虹の松原を事例とした海岸林における景観散策の心理的な効果とその要因となる景観構成」について学会発表を行った。

会場では調査結果をパネルで展示し、海岸林や森林の専門家に対して発表を行い、多くの質問と貴重な助言を受けた。



12月5日には、「虹の松原シンポジウム」(佐賀大学主催 会場：佐賀県唐津市)に参加。「虹の松原景観調査結果」と題し、みどりの総合科学科の岡田穂准教授とともに研究発表を行った。



III 事業の概要

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」のもと、教育・研究体制の改革に取り組むとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っている。

平成21年度は、専修大学が創立130年を迎えることから、記念事業を事業計画の中核に据え、これに基づく予算の効率的執行及び経常経費の節減により、本学の歴史と伝統の顕彰及び大学力の広範な発信を行うとともに、教育内容や方法の改善強化、修学環境や学生支援体制の質的充実を図った。

主な事業の目的・計画及び進捗状況

1 創立130年記念事業の推進

(1) 記念式典等の実施

専修大学は、創立記念日(平成21年9月16日)及び大学記念日(同年10月30日)を中心に、今日までの業績等を顕彰するとともに、創立150年に向けた新たなスタートとしての式典を開催した。

①創立130年宣言・校旗リレーパレード

創立記念日の平成21年9月16日に、「専修大学発祥の地(東京都中央区銀座3丁目)」から神田キャンパスまで、創立期から昭和期までの時代衣装を身にまとった学生たちによる「校旗リレー」のパレードを行い、神田キャンパスにおいて、日高理事長・学長による「創立130年宣言」を行った。



②創立130年記念式典・祝賀会

大学記念日の平成21年10月30日に、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)において、記念式典及び祝賀会を開催した。祝賀会では、来賓祝辞に続き、専修大学と同附属高校及び同松戸中・高校のチアリーダーによるジョイント演舞、書道パフォーマンス、石黒吉次郎文学部教授による「創立130年記念短歌」などが披露されたほか、「専修大学の130年のあゆみ」展も開催した。



(2) 施設設備等の整備

専修大学は、記念事業として生田10号館(130年記念館[平成19年竣工])の建設を含む施設設備等の整備を行ってきたが、平成21年度では、以下の整備を行った。

①黒門の復元

明治時代、正門として用いられ専修大学のシンボルであった「黒門」を、およそ100年ぶりに復元し、

平成22年3月16日に、神田キャンパスで除幕式を行った。「黒門」は、専修大学育友会の寄贈によるもので、国産ヒノキ材を使用し、柿渋により、黒く仕上げられている。



②創立者胸像の製作

本学の創立者である相馬永胤、目賀田種太郎、駒井重格の胸像を製作した。これにより既に所蔵している田尻稲次郎像と併せて、創立者4人の胸像が整備された。胸像4体は、創立者同時代展(詳細下記)での展示を経て、生田10号館1階「アカデミーモール」に設置した。

(3) 記念行事等の実施

専修大学は、「専修人」の絆を深め、また学生に、本学に集い学ぶことに対する誇りと自信を高揚させるために、各種記念行事を実施した。

①学生と共に130年—創立130年の集い—

平成21年10月31日に、専修大学生田第一体育館において、学生及び校友並びに育友が一堂に集い、ともに創立130年を祝う祭典を実施した。当日は、本学卒業生でタレントの小堺一機氏と日高学長によるライブトークや専修大学検定(クイズ大会)等を催した。



②歴史展示「創立者同時代展」

専修大学のミッションの歴史的背景を省察することを目的とし、本学が所蔵する貴重書簡・書籍や創立者たちの所蔵品による歴史展示を実施した。本展示は、神田・生田キャンパスのほか、専修大学サテライトキャンパスと東京芸術劇場(東京都豊島区)での巡回展示とした。

③アジア諸国の国際交流協定校学長会議

平成21年10月29日に、神田6号館国際会議室において、アジア諸国の本学国際交流協定校学長を招聘した学長会議を実施した。会議には、檀国大学総長、ベトナム国立大学長及びラオス国立大学長が出席し、

日高学長・
荒木副学長・
坂田石巻専修
大学長とともに



に、「大学教育の役割と人材育成ーアジア圏域での連携を求めて」をテーマに意見交換を行った。

④人間科学部開設・文学部改組記念シンポジウム「生きづらさのゆくえ」

創立130年及び人間科学部開設・文学部改組(平成22年度)を記念したシンポジウムを、平成21年11月6日に、神田3号館303教室で実施した。当日は、香山リカ氏(精神科医・立教大学教授)と上野千鶴子氏(社会学者・東京大学大学院教授)による講演に引き続き、本学教員を含めたパネルディスカッションを行った。

⑤ベートーベン交響曲第九番特別演奏会

平成21年12月5日、ミューザ川崎シンフォニーホール(神奈川県川崎市)において、専修大学フィルハーモニー



管弦楽団と本学学生、校友、

育友、教職員及び(川崎市)多摩区民で構成された「祝祭合唱団」による、ベートーベン作曲「交響曲第九番」及びベルリオーズ作曲「ラコッツィー行進曲」の演奏会を催し、聴衆1,700人を歓喜の歌声とメロディーで包み込んだ。

写真提供: 三好英輔氏

⑥創立130年記念海外セミナー

学生部主催により、創立者4人が学んだアメリカ東部の名門校、ハーバード、エール、ラトガース、コロンビア大学を訪問する海外セミナーを実施した。本セミナーは、留学が創立者たちにもたらした影響や、学校設立に至る想いを直に感じるとともに、異文化の体験を通して見聞を広めることを目的としており、参加する学生に対し、本学の歴史及びアメリカの歴史を学ぶ事前研修も行った。

(4) 広報活動

専修大学は、創立130年の伝統と功績を社会にアピールし、大学のブランドイメージ向上を図るため、各種メディアを通じた広報活動を推進した。

①全国ネットでのテレビCMの放映

平成21年4月から1年間、フジテレビジョン「FNNスーパーニュース」の番組スポンサーとして、番組内でCMを放映した。平成19年度から開始し、3年目となる本年は、「歴史があるから明日を語れる」をテーマに、多彩な卒業生と在生学生が出演するCMを制作した。

②新聞広告

平成21年9月16日、専修大学が創立130年を迎えたことを記念し、読売・朝日・毎日・産経新聞の全国版及び東京・神奈川新聞に、新聞広告を掲載した。本広告は、第77回毎日広告デザイン賞(第3部部門賞)に選ばれた。

また、同日(9月16日)、日本経済新聞の全国版に、専修大学育友会による大学応援広告も掲載された。



③連載企画「専修大学130人の顔」の雑誌掲載

創立130年に因み、社会で活躍している専修大学卒業生130人(創立者4人を含む)のインタビューを、「週刊ダイヤモンド」に13週連続で掲載し、大学の歴史と伝統、人材育成の実績をアピールした。また、連載終了後は、雑誌掲載記事を中心に編集した記念小冊子を作成し、創立130年祝賀会等で配付した。



2 教育・研究力の強化

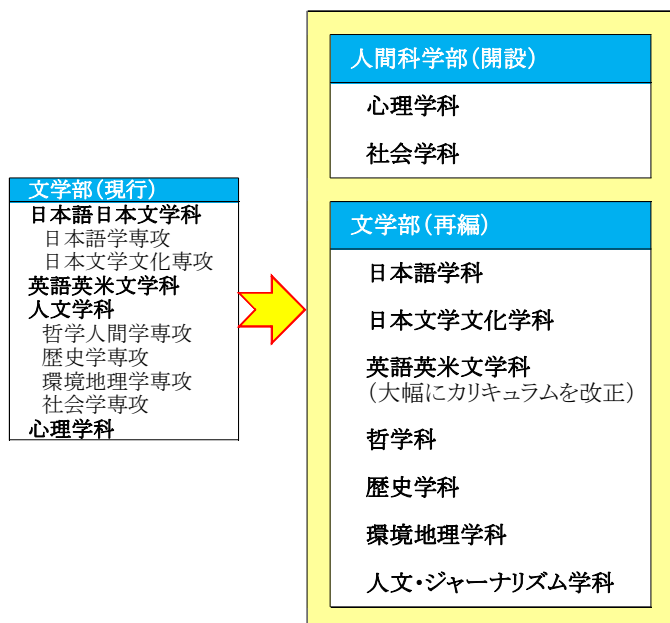
【専修大学】

(1)組織に関すること

①新学部・新学科の設置準備

専修大学は、文学部改組による新学部及び新学科を開設(平成22年4月1日)するため、「設置届出書」を平成21年4月24日付で文部科学省に提出し、平成21年6月30日付で受理された。

具体的には、文学部の心理学科と人文学科社会学専攻を改組し、心理学科と社会学科の2学科からなる人間科学部を設置する。また、文学部の日本語日本文学科の日本語学専攻及び日本文学文化専攻を、それぞれ日本語学科及び日本文学文化学科に、人文学科の哲学人間学専攻、歴史学専攻及び環境地理学専攻を、それぞれ哲学科、歴史学科及び環境地理学科に改組するとともに、人文・ジャーナリズム学科を設置する。



②大学院商学研究科の再編準備

専修大学は、大学院商学研究科(修士課程及び博士後期課程)に会計学専攻を開設(平成22年4月1日)するため、「設置届出書」を平成21年4月24日付で文部科学省に提出し、平成21年6月30日付で受理された。

③大学院経済学研究科修士課程のコース再編準備

専修大学は、大学院経済学研究科修士課程のコース再編に向け(平成22年4月1日)、大学院学則の変更等、準備を完了した。再編内容は、次のとおり。

■「アカデミックコース」「プロフェッショナルコース」は、生田キャンパス開講の「社会経済コース」と「国際経済コース」及び神田キャンパス開講の「プロフェッショナルコース」に再編。

■「エコノメトリックス・コース」は廃止。

■「長期在学コース」は、「長期在学プログラム」に改称し、生田キャンパス開講の「社会経済コース」と「国際経済コース」に付置。

■生田キャンパス開講の「社会経済コース」「国際経済コース」、神田キャンパス開講の「プロフェッショナルコース」「ファイナンス・コース」に、「経済学特修プログラム」を新しく付置。

■「飛び入学入学試験」制度は廃止。

(2)カリキュラム等に関すること

①ネットワーク情報学部のカリキュラム改正

ネットワーク情報学部は、入学者の目的指向の多様化への対応及び学習内容と職業選択との関連性の明確化を目的として、カリキュラム改正を行った。この改正によってコース制を廃止し、プログラム制を導入したことにより、教育内容の拡充を図った。

②自校史教育の強化(『専修大学の歴史』刊行)

専修大学は、平成20年度に授業開講した総合科目Ⅲ「日本の大学史の中の専修大学」を、平成21年度は、神田キャンパスにおける履修希望に応えるため、教養特殊講義「日本近現代史のなかの専修大学」(半期開講科目)として、生田・神田両キャンパスで開講した。



併せて、平成21年9月16日(創立記念日)に刊行した『専修大学の歴史』は、後期開講の同科目において、テキストとして活用した。

(3)初年次教育に関すること

①『知のツールボックス』改訂版の活用による導入教育の強化

専修大学出版企画委員会は、平成21年4月に「知のツールボックス」改訂版を刊行した。改訂版は、従前の新書判サイズよりも大きい四六判サイズとし、文章をできるだけ簡略化して読み易くしたほか、学生が理解を深めるための練習問題として「ワークブック」を別冊として添付した。

本書は、平成21年度新入生全員に配付し、初年次教育の効果を高めた。

②授業と連携した図書館利用の促進

専修大学図書館は、初年次教育の強化支援として、「図書館利用案内ツアー」や「情報検索講習会」等を企画、実施した。とりわけ情報検索講習会は、経済学部及び経営学部の必修科目である「入門ゼミナール」の中で実施し、各種データベースの活用等を案内した。

なお、図書館は、平成21年4月1日から新電子計算機システムを導入し、館内ではオンライン閲覧目録(OPAC)94台が稼働するほか、WEBにより所蔵情報を公開している。

(4)教育改革に関すること

①教育効果測定研究プロジェクトの研究開始

専修大学は、平成20年6月に、学生の入学時の基礎学力と、入学後の学業成績との相関を分析し、教育改革への活用をめざす「教育効果測定研究プロジェクト」を設置した。

平成21年度は、プロジェクトの研究環境と方法等について検討を重ね、個人情報漏洩防止対策を講じた専用のパソコン環境を整備し、教学システム情報及び学内外の多様なデータの収集とデータベース化に努めた。平成22年度は、プロジェクトメンバーによる分析を進める。

②「大学院教育振興施策要綱」に則した大学院教育の改革

大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会は、大学院教育における課題の抽出及び改善を目的として、履修者対象の授業評価及び授業担当教員対象のアンケート調査を行った。また、平成20年4月に設置された「大学院留学生日本語教育検討委員会」は、本学大学院留学生の日本語能力について実態を把握するべく、平成20年度は留学生を、平成21年度は授業担当教員を対象としてアンケート調査を実施した。今後は、これらの分析結果に基づき、教育改革を推進させる。

③法科大学院教育充実

法科大学院は、中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会が取りまとめた「法科大学院教育の質の向上のための改善方策について(報告)」(平成21年4月17日付)を指針として、次の事項を重点的に改善した。

- 平成22年度入学者選抜試験から出願書類記載内容の改善及び書類審査における配点の見直し
- 平成22年度入学者選抜試験から法学既修者に課す筆記試験全科目について各々基準点の設定
- 平成23年度導入に向けた新カリキュラム及び進級制度の検討
- 修了者に対する補完教育の実施

④「教養教育のあり方検討委員会」の設置

専修大学は、平成21年5月26日付で学長諮問機関「教養教育のあり方検討委員会」を設置した。本委員会は、本学における教養教育の理念の位置づけ、学士課程教育における専門教育と教養教育の関係構築について検討を進めている。

⑤法学部学習相談員の配置

法学部は、生田キャンパスに学ぶ1年次生について、学習相談の機会確保・充実を図るべく、法学部教務委員長の下に博士後期課程大学院生による学習相談員を配置した。相談内容は、ノート、論述式答案及びレポートの書き方、入門書や参考書の紹介、学部(学習内容)に関係する資格や卒業後の進路の紹介など多岐に亘る。

(5)研究に関すること

研究プロジェクトの推進

社会知性開発研究センターは、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された研究プロジェクトをはじめ、次の6研究拠点を稼働させた。

- 言語・文化研究拠点
「Anglo-Saxon語の継承と変容」
- 東アジア世界史研究拠点
「古代東アジア世界史と留学生」
- 社会関係資本研究拠点
「持続的発展に向けての社会関係資本の多様な構築：東アジアのコミュニティ、セキュリティ、市民文化の観点から」
- フランス革命史料研究拠点
「『ミシェル＝ベルンシュタイン文庫』の史料学的研究」
- 都市政策研究拠点
「工業都市の再生と進化—川崎を機軸とした工業都市の比較研究」
- 中小企業研究拠点
「東アジア中小企業比較研究」

(6)国際交流に関すること

①中期留学プログラム(フランス語コース)の開設

専修大学は、国際交流協定校のリュミエール・リヨン第2大学の協力により、中期留学プログラムにフランス語コースを開設し、平成21年度は、1名の学生を派遣した。

②ベトナム語講座の開設

専修大学は、アジアにおける国際交流協定校との連携をより活性化させるために、学生に対するアジア諸国の言語教育プログラムを充実させるべく、ベトナム語講座を開設した。

(7)施設整備に関すること

①生田11号館の新築

専修大学は、大学院心理教育相談室機能と教員研究室からなる生田11号館を、平成21年9月に完成させた。

生田11号館は、大小4つのプレイルームや観察室、面接室などが配置され、臨床実習教育に係る活用のみならず、育児者など多くの方々の利用が期待される。



また、人間科学部の開設(平成22年度)に伴い、生田4号館の改修工事を行った。

②教育・研究用コンピュータシステムの更新

専修大学は、平成22年4月のシステム更新に伴い、教育・研究用コンピュータシステムの端末として、「Windows®7」を搭載したパソコン(富士通(株)製)を新規に約2,000台導入した。大学のコンピュータ教室用として、最新OSである「Windows®7」搭載パソコンをこの規模で導入することは、全国の大学で初となる。

また、本学は、グリーンIT化への取り組みを強化しており、この教育・研究用コンピュータシステムには、パソコンやサーバなど省電力・低発熱型機器を最大限に活用する。導入後4年間の省エネ効果は、最大で975トンのCO2削減(杉の木69,623本分)(注:富士通換算)であり、さらに電力料金2,745万円のコスト削減も見込んでいる。

③Web講義要項(シラバス)システムの機能強化

専修大学は、学部学生に講義要項検索サービスを提供しているWeb講義要項(シラバス)システムに、大学院の講義要項情報を登録する機能を追加開発し、平成21年4月1日から大学院生に対する大学院講義要項検索サービスの提供を開始した。

【石巻専修大学】

(1)カリキュラム等に関すること

理工学部のコース制導入

理工学部基礎理学科、情報電子工学科及び生物生産工学科は、次のとおりコース制を導入した。これにより、全ての学科がコース制を設けたこととなる。

[基礎理学科]

美と健康コース、食品分析コース、植物と環境コース、総合科学コース

[情報電子工学科]

ITデザインコース、先端エレクトロニクスコース、カーエレクトロニクスコース

[生物生産工学科]

海洋生物生産コース、遺伝子・細胞コース、生態系修復コース

(2)研究に関すること

石巻専修大学共創研究センターの設置

石巻専修大学は、地域の持続的発展に寄与するべく、地域課題の解決に向けた研究に取り組む「共創研究センター」を、平成21年4月に設置した。平成21年度に採択された6つの研究プロジェクトは、次のとおりであり、平成22年3月11日には、プロジェクト発表会を開催した。

- 「ギンザケのアイブス(EIBS)感染症の防除並びに同ウイルスの人為感染に伴う食と環境のリスク軽減を目指した安全性確保技術の確立」
- 「バイオリクターによる水浄化システムの改良 および浄化メカニズムの原因追究を主軸とする、水環境改善の技術的・教育的研究」
- 「宮城県東部地域の観光資源開発」
- 「地域問題解決型金融システムの構築」
- 「チャレンジショップの創業期における経営課題」
- 「エンジョイ・スーパーサイエンス」

【専修大学北海道短期大学】

(1)カリキュラム等に関すること

①地域総合科学科達成度評価に係る適格認定

専修大学北海道短期大学は、平成18年度の学科改組に伴い、(財)日本短期大学基準協会へ「地域総合科学科」適格認定の申請を行い、みどりの総合科学科は平成17年5月30日付、商経社会総合学科は平成17年9月16日付で、それぞれ適格認定を受けている。

平成21年3月26日、専修大学北海道短期大学は、完成年度後の達成度評価に係る自己点検・評価報告書を同協会へ提出し、審査を受け、両学科とも同年9月17日付で、地域総合科学科として適格の認定を受けた。

②専大ファームの充実

専大ファームは、平成21年6月23日に有機JAS法に基づき、(財)北農会より「有機農産物栽培圃場」として認定を受けた。このファームは、無農薬農産物の生産・収穫・販売・加工といった一連の過程において、文理融合教育を実現する「場」として、専門的な知識だけではなく、環境に対する高い意識を持った学生の教育を目的として運営している。

3 学生支援の充実

【専修大学】

(1)経済的支援に関すること

①育友会奨学金の新設

専修大学は、平成21年4月1日付で、専修大学育友会からの寄付金に基づき、経済支援を目的とする「専修大学育友会奨学金制度」を創設した。なお、平成21年度の採用者は、7名であった。

②就職支援奨学金の支給

専修大学は、平成20年度 of 就職内定取消しによる卒業延期者7名に対し、特例措置により就職支援奨学金を支給した。

(2)進路支援に関すること

①会計士講座カリキュラムの改革

専修大学エクステンションセンターは、平成21年度から公認会計士短答式試験が年2回実施されることに伴い、講座カリキュラムを変更し、会計士入門講座内に選抜個別クラスを設けた。

このクラスには、選抜試験を突破した1年次生13名が、2年次での短答式試験合格に向けて講座を受講。また、奨励生選抜試験を平成22年1月に実施し、22名が奨励生として大原簿記学校に通学することとなったが、うち7名が、選抜個別クラスからの選抜生であった。

《参考》

平成21年度 難関国家試験合格状況

	平成21年度		平成20年度	
	計 (卒業生含)	在学生 (学部)	計 (卒業生含)	在学生 (学部)
旧司法試験	1	0	2	0
新司法試験	17	—	20	—
公認会計士 試験	14	※1 7	※2 37	7

※1 平成21年度の在学生合格者7名(3年次生3名、4年次生4名)は、いずれもエクステンションセンター会計士講座受講生。

※2 平成20年度合格者37名のうち、1名は本学中途退学者である。

②就職支援体制の強化

専修大学就職部は、平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに、「就職活動に負けない自分作りを目指した就職支援の強化」を申請、採択された(期間：平成21～23年度)。この採択により、既存の就職支援プログラムを更に強化していく。



【石巻専修大学】

(1) 経済的支援に関すること

① 奨学金制度の見直し

石巻専修大学は、大学の現状と立地特性を踏まえ、地域後継者の育成やステークホルダーとの連携も考慮した、メリハリのある奨学金制度へと見直しを図った。平成22年度入学志願者に向け、専用パンフレットを作成し、広報活動にも努めた。

なお、奨学金制度の一部は、平成21年度から運用を開始した。

② 自宅通学支援バス路線の拡大

石巻専修大学は、利便性・安全性の向上、地域の学習機会の提供といった観点から、自宅通学支援バスについて、路線の拡大(3路線から5路線)を図った。経済不況の影響もあり、自宅通学圏を拡大する本取組みは、学生、保護者、地域社会等から好意的に受け止められ、各路線とも順調な利用実績を示している。

なお、平成21年12月に、石巻北部バイパスが開通したことから、一部の自宅通学支援バスに係るアクセスが改善した。

(2) 進路支援に関すること

会計専門職養成のための支援強化

石巻専修大学は、経営学部生の資格取得を支援するため、会計専門職養成講座(日商簿記検定1～3級)を開講し、延べ160名が受講した。また、高大接続研究事業に関する協定を締結する石巻商業高等学校の生徒にも、同講座を開放した。

【専修大学北海道短期大学】

(1) 進路支援に関すること

進学・就職支援の強化

専修大学北海道短期大学は、学生一人ひとりの希望進路実現に向け、きめ細やかな支援を行った。

進学(大学編入学)については、同一法人の専修大学、石巻専修大学への独自の編入学制度のほか、他大学の「編入学指定校・協定校」(20校)等の制度も利用し、多くの学生の編入学を実現させた。

就職については、学生個々の個性と希望に合わせた支援を心掛け、学科及び演習担当教員が中心となって、学生の就職意識・意欲を高めた。

4 社会への貢献活動の充実

【専修大学】

(1) 教育職員免許状に関すること

更新講習会の実施

専修大学は、平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されたことに伴い、免許状更新講習を開設した。

講習は、生田キャンパスにおいて、平成21年8月3～7日の5日間で実施し、必修講習「教育の最新事情に関する事項(12時間)」を2講習(定員60名)、選択講習「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項(6時間)」を14講習(定員385名)開講した。

なお、受講者は、必修講習20名、選択講習55名であった。

(2) 社会人教育に関すること

① KSコミュニティ・ビジネス・アカデミーの実施

専修大学は、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に、3年間の予定で採択された「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」を、平成21年度も開講した。

平成21年度の前期(第2期)は、31人が受講し30人が修了、後期(第3期)は、29人が受講し26人が修了した。

なお、本アカデミー修了者は、第二の人生における活躍の場を求め、職業獲得や起業創造に向けて、活発な活動を行っている。



② 大学院における委託生等の受入れ(平成21年度実績)

- 大学院法学研究科と日本行政書士会連合会との覚書による特別履修生(科目等履修生)の受入れ
- 川崎市職員を大学院委託生として受入れ [KSパートナーシップ・プログラム]
- 専修大学附属高等学校の教職員を大学院委託生として受入れ[委託生制度]
- 大学院商学研究科と東京信用保証協会が共同で公開講座を開催

(3) 高大連携に関すること

専修大学は、「高大連携聴講生の受け入れ」「教科研修生の派遣」「文学部英語英米文学科公開セミナーの開催」「一日体験入学」「高校教員研修会への教員派遣」「講座への教員派遣」など、協定校のニーズに応じながら、高大連携プログラムの拡充に努めている。平成21年度からは、東京都立大田桜台高等学校と連携協定を締結し、高大連携協定校は計14校となった。

(4) 公開講座等に関すること

駒井重格展の開催

専修大学は、一橋大学及び桑名市博物館(三重県)との共同企画展「駒井重格の軌跡～専修大学の創立者、一橋の名校長～」を平成21年12月12日から桑名市博物館で開催し、連日多くの入場者が訪れた。

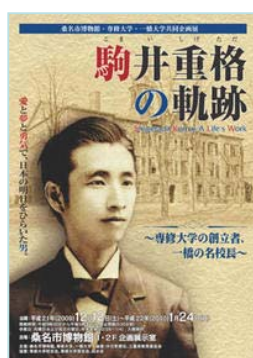
本学創立者の一人である駒井重格(1853～1901)は、経済学教育の先駆者であり、一橋大学とも深い関わりを持つ。その駒井に光を当て、ゆかりの地桑名から「知の発信」を展開するために、全国で初となる私立大学・国立大学・市立博物館の共同主催展が実現した。

[開催期間] 平成21年12月12日～平成22年1月24日

[入場者] 1,349名

[記念講演会・シンポジウム]

開催日 平成22年1月9日／参加者 204名



(5) 施設開放に関すること

専修大学図書館は、平成21年度から、神奈川県立の図書館(神奈川県立図書館及び神奈川県立川崎図書館)との相互協力の協定により、神奈川県立の図書館の利用登録者に対する利用サービスの提供を開始した。

【石巻専修大学】

(1) 産学連携に関すること

石巻専修大学は、以下のとおり産学連携活動を活発化させた。

■宮城県の「産学官連携フェア」において、共創研究センター研究プロジェクトの代表者2名が、研究紹介を行った。

■石巻信用金庫とのISプロジェクトとして、「産学金コーディネーター育成研修」「エコ活動(海浜清掃)」「インターンシップ」「企業経営セミナー」等を行った。石巻信用金庫経由の技術相談が増えつつあり、共同研究へと発展した事例もある。

■石巻産学交流会・自動車関連産業集積部会のプロジェクト活動から、自動車部品の産学共同生産に向けた「夢工房いしのまき」の動きが進みつつある。

(2) 高大連携に関すること

石巻専修大学は、単位認定を伴う連携(高大接続研究事業)や出前授業等のほかに、県内拠点高等学校(3校)の特定学年ほぼ全員を対象とした特別授業や、専修大学北上高等学校1・2年生全員を対象とした大学見学会など、多様な高大連携を実施した。これまでの交流実績や大学見学会等を踏まえ、平成21年12月には、専修大学北上高等学校との間で高大連携に関する協定を締結した(4校目)。

(3) 施設開放に関すること

石巻専修大学は、有する教育的機能や施設を地域社会に開放する活動を積極的に行った。平成21年度は、創立20年記念事業の一環として、「青少年のための科学の祭典(参加者：延べ3,267人)」及び「絵本原画展(参加者：323人)」を開催した。



【専修大学北海道短期大学】

(1) 地域連携に関すること

① 地域社会に対する貢献

専修大学北海道短期大学は、「美唄市と専修大学北海道短期大学との連携に関する協定書」に基づき、教員の講師派遣、地域住民と留学生との交流、美唄市役所内及びアンテナショップPipaにおける専大ファーム製品の販売など、地域社会との連携を強化した。

また、教員による諸委員会への委員就任はもとより、職員(看護師)も美唄市教育委員及び介護認定員として協力している。

②「専修大学ハスカッププロジェクト」本格始動

専修大学北海道短期大学は、ハスカップネットワーク美唄(地産フード研究会、美唄商工会議所会員らで構成)との連携により、平成20年に発足した「専修大学ハスカッププロジェクト」の活動を、本格的にスタートさせ、平成21年6月5日、本学実習場でハスカップの苗木定植を行った。

今回定植した苗木は、2年後には実がつくようになり、3年後には収穫が見込まれる。今後は、品種改良、栽培、収穫期の研究を進める一方、生育農家の調査、関連商品の調査、ハンドブックの作成にも携わる。



5 経営基盤の強化

【学校法人】

(1)外部資金の確保に関すること

平成21年度実績

■私立大学等経常費補助金

専修大学：1,448,818千円

石巻専修大学：324,492千円

専修大学北海道短期大学124,033千円

■採択された事業及びプログラム

[下記4件は、専修大学]

- ・ 学術研究振興資金
- ・ 大学改革推進等補助金(学生支援プログラム)
- ・ 戦略的研究基盤形成支援事業
- ・ 経済産業省補助金

■採択された私立大学等における教育研究装置・施設の整備費に対する補助

[下記4件は、専修大学]

- ・ 学校施設耐震改修事業：2件
- ・ ICT活用推進事業：2件

■採択された私立大学等における研究設備等の整備費に対する補助

[下記4件は、専修大学]

- ・ 特定図書：2件
- ・ 教育基盤設備：2件

(2)募金活動に関すること

学校法人専修大学は、創立130年記念事業資金募金推進委員会において合意を得た募金活動計画に基づき、平成17年4月から開始した募金活動を積極的に推進した。

■募集期間 平成17年4月から平成22年3月まで

■募金達成状況 通算 6,463件/955,367,078円

(3)将来構想に関すること

日高義博理事長は、ニュース専修3月号(第474号)の紙面において、専修大学キャンパス構想の試案を、検討の「たたき台」として提示した。今後は、多方面からの検討を加えながらキャンパス構想を練り上げ、創立150年に向けて、計画的かつ段階的にキャンパス整備を進めていく。

【専修大学】

(1)事務システムに関すること

専修大学は、平成21年10月26日に、学部、大学院及び法科大学院の教務情報管理の統合を中心とした新教学事務システムを完成、稼働させた。このシステムは、(a)学部新設などの制度変更に対する柔軟かつ迅速な対応(保守性及び拡張性の向上)、(b)次世代の学生サービスを提供するためのシステム基盤の強化、(c)三大学のシステム統合に向けたシステム基盤の強化、(d)システム運用管理コストの削減などが期待できる。

(2)広報活動に関すること

専修大学オリジナル「携帯待ち受け画面」配信

専修大学は、大学PRの一環として、携帯電話の画面を専修大学オリジナルデザインでコーディネートできる「きせかえ」を制作し、きせかえ専用サイトにて配信した。



(3) 学生募集に関すること

専修大学は、受験生の父母を対象に、大学情報、入試情報、就職・資格取得支援体制等について情報提供を行う新企画「専修大学ペアレンツフェア」を神田及び生田キャンパスで開催し、297名の参加があった。

また、100名を超える入学センター学生スタッフが、タブロイド版大学紹介誌「専大へようこそ！」を発行・配布し、学生トークライブを催すなど、オープンキャンパスやキャンパスツアーを盛り立てた。



(4) 事務組織に関すること

専修大学は、教課に分散していた研究支援業務を、学長室学務課に統合し、教員への利便性の向上と事務組織の強化を図った。なお、統合の対象となった業務は、以下のとおり。

- 専任教員の在外研究(大学派遣・私費留学)に関すること(旧主管：国際交流事務課)
- 専任教員の国際学術会議参加に係る航空運賃の補助に関すること(旧主管：国際交流事務課)
- 研究所の管理に関すること(旧主管：教務課)

【石巻専修大学】

(1) 防災に関すること

石巻専修大学は、セキュリティ機能の強化を図り、安心安全なキャンパスを実現するため、地震等大規模災害への対応として備蓄を始めたほか、中・長期修繕計画に基づき、中央監視装置を更新した。また、平成21年度採用の特命教員による防犯・安全に係る特別授業も実施した。

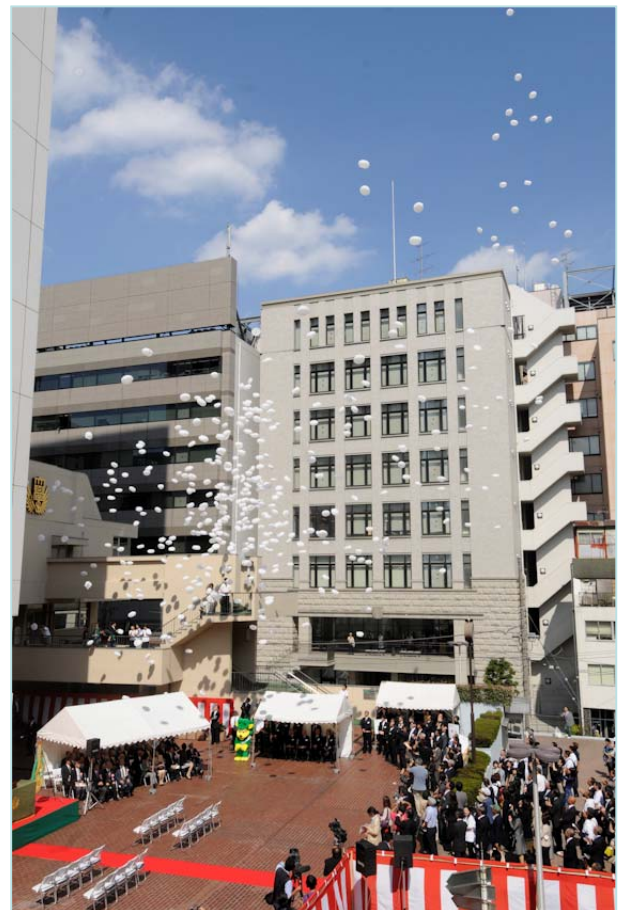
(2) 学生募集に関すること

石巻専修大学は、学生募集力強化の観点から広報手段を見直し、重要性が増しているホームページ、オープンキャンパス、高大連携(特別授業等)などの充実に力を注いだ。また、記者クラブへのニュースリリース、教職員間における迅速な入試・進路情報の共有化と意識一体化を期したメール配信(入試担当ニュース、就職担当ニュース)などに取り組んだ。

【専修大学北海道短期大学】

(1) 学生募集に関すること

専修大学北海道短期大学は、平成21年10月15日、「緊急学生募集対策本部会議」を設置した。本会議は、学長が本部長となり、「連絡会議」「緊急学生募集支援会議」「教学委員会」「広報委員会」の各機関で構成された組織であり、本学(短期大学)卒業生及び校友会員等に、パンフレットや紹介資料を3回(12月～2月)送付し、学生募集の協力を依頼した。





IV 決算の概要

1 資金収支計算書

〔概要〕

収入の部では、当年度収入合計が予算比8.88%増の283億800万円（前年度比では10.24%の増）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比6.73%増の366億1,576万円となっている（前年度比では10.48%の増）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比0.52%減の258億9,322万円（前年度比では4.26%の増）で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み107億2,253万円となっている（前年度比では29.07%の増）。

資金収支計算書（概要） 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで （単位：千円）

収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	20,760,143	20,792,334	△ 32,191	3月末日在籍者数は22,351人 志願者数は39,389人
手数料収入	987,110	1,145,751	△ 158,641	創立130年記念事業資金募金活動最終年
寄付金収入	379,300	216,534	162,765	
補助金収入	2,181,059	2,096,759	84,299	私立大学等経常費補助金内訳 ・専修大学 14億4,881万円 ・石巻専修大学 3億2,449万円 ・専修大学北海道短期大学 1億2,403万円
資産運用収入	521,056	537,571	△ 16,515	
資産売却収入	201,489	201,489	△ 0	
事業収入	541,131	533,640	7,490	寮・セミナーハウス・相馬記念会館の利用料等を含む
雑収入	576,851	671,675	△ 94,824	
前受金収入	4,009,849	4,423,026	△ 413,177	平成22年度入学生の入学手続時の納入学費
その他の収入	470,769	2,550,602	△ 2,079,833	
資金収入調整勘定	△ 4,629,250	△ 4,861,386	232,136	本年度末において収納できなかった未収入金や前年度に先立って受入れた前受金等
当年度収入合計	25,999,507	28,308,000	△ 2,308,493	
前年度繰越支払資金	8,307,764	8,307,764		
収入の部合計	34,307,271	36,615,765	△ 2,308,493	

支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	14,263,258	14,394,513	△ 131,255	差異は主として退職金支出の増
教育研究経費支出	6,807,359	6,558,152	249,206	教育・研究の活動に要する経費
管理経費支出	2,019,817	1,936,873	82,943	法人業務・学生募集等に要する経費
借入金等利息支出	323,451	323,450	0	
借入金等返済支出	127,760	127,760	0	借入金の残高は5億7,769万円
施設関係支出	1,310,629	1,939,089	△ 628,460	
設備関係支出	543,789	654,516	△ 110,727	
資産運用支出	370,000	363,000	7,000	
その他の支出	921,039	912,891	8,147	このうち前払金支払支出では、主として洋雑誌購入予納金として約9,600万円
[予備費]	(0)		150,000	
資金支出調整勘定	△ 808,174	△ 1,317,018	508,844	本年度末において支払えなかった未払金や前年度に先立って支払った前払金等
当年度支出合計	26,028,928	25,893,229	135,698	
次年度繰越支払資金	8,278,343	10,722,535	△ 2,444,192	
支出の部合計	34,307,271	36,615,765	△ 2,308,493	

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

〔 内 容 〕

(1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、予算比0.16%増の207億9,233万円（前年度比では1.53%の減）。最終在籍者数が専修大学で20,126人、石巻専修大学で1,978人、北海道短期大学で247人となり、全体では22,351人。最終在籍者数は、前年度と比べて専修大学で増、石巻専修大学・北海道短期大学で減となり、全体では72人の減となっている。
- ② 手数料収入は、予算比16.07%増の11億4,575万円（前年度比では11.53%の増）。このうち、入学検定料収入は、予算比16.44%増の11億211万円（前年度比では12.25%の増）。入学志願者数が予算と比べ専修大学・石巻専修大学・北海道短期大学ともに増となったことによる。
- ③ 寄付金収入は、予算比42.91%減の2億1,653万円（前年度比では10.20%の増）。このうち、特別寄付金収入は、予算比44.02%減の1億9,930万円。一般寄付金収入（21年度入学生の父母等による寄付金）は、予算比26.05%減の1,723万円となっている。
- 創立130年記念事業資金募金活動は、目標額30億円に対し31.8%の達成率となった。
- ④ 補助金収入は、予算比3.87%減の20億9,675万円（前年度比では2.44%の減）。このうち、国庫補助金収入は、予算比3.75%減の20億5,999万円（前年度比では2.00%の減）。内訳は、経常費補助金が18億9,734万円（前年度比では7.06%の減）、研究設備補助金が3,080万円、教育研究装置補助金が1億1,785万円、経済産業省補助金が46万円、施設高度化利子助成金が252万円、大学改革推進等補助金が1,100万円となっている。
- ⑤ 資産運用収入は、予算比3.17%増の5億3,757万円（前年度比では35.13%の増）。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比2.38%増の4億6,583万円（前年度比では42.84%の増）。
- ⑥ 資産売却収入は、有価証券の満期償還で、予算どおり2億148万円。
- ⑦ 事業収入は、予算比1.38%減の5億3,364万円（前年度比では17.13%の増）。差異は、留学プログラム・各種講座参加者減、伊勢原セミナーハウス利用者減等による。

- ⑧ 雑収入は、予算比16.44%増の6億7,167万円（前年度比では35.33%の増）。このうち、退職金財団交付金収入は、予算比15.67%増の5億7,556万円で、差異は、教職員の退職者増による。
- ⑨ 前受金収入は、平成22年度入学者の入学手続時における納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、44億2,302万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で25億5,060万円。資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で48億6,138万円。

(2) 支出の部

- ① 人件費支出は、予算比0.92%増の143億9,451万円（前年度比では2.45%の増）。差異は、教職員の退職金支出の増等による。
- ② 教育研究経費支出は、予算比3.66%減の65億5,815万円（前年度比では2.24%の増）。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
- ・ 準備品費支出：8,595万円（2,203万円の増）
新学部（人間科学部）設置並びに教育研究システム更新等に伴う準備品費の増
 - ・ 消耗品費支出：4億2,186万円（1,372万円の増）
新学部（人間科学部）設置並びに学生相談室移転等に伴う消耗品費の増
 - ・ 印刷製本費支出：2億8,919万円（1,076万円の減）
石巻専修大学における講義要項電子化、社会知性開発研究センターにおけるニューズレター制作見送り等による減
 - ・ 光熱水費支出：6億1,307万円（6,301万円の減）
省エネ対策並びに生田4号館改修工事（半年間）に伴う教室閉鎖等による減
 - ・ 旅費交通費支出：2億1,576万円（2,826万円の減）
国際交流関係等海外出張旅費、学会補助等国内研究旅費の減
 - ・ 奨学費支出：3億9,970万円（1,846万円の減）
家計急変奨学生、災害見舞奨学生等の申請者数減
 - ・ 補助費支出：2億4,195万円（3,061万円の減）
学生団体課外活動補助金、大学院生図書購入費・コピー援助費等の減
 - ・ 修繕費支出：4億7,291万円（1,580万円の増）
教育研究システム更新に伴う電気設備工事等による増

- ・委託費支出：20億2,266万円（7,513万円の減）
各種講座委託費、各所管派遣業務委託費等の減
 - ・保守費支出：4億2,217万円（2,320万円の減）
教学システム第2次フェーズに係るリース会計処理変更等による減
 - ・賃借料支出：6億7,048万円（1,673万円の減）
北海道短期大学 教育研究用コンピュータに係るリース会計処理変更等による減
 - ・謝礼費支出：1億703万円（1,991万円の減）
各種講座講師謝礼費、学部授業科目外部講師謝礼費等の減
- ③管理経費支出は、予算比4.11%減の19億3,687万円（前年度比では0.99%の減）。
予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
- ・消耗品費支出：1億897万円（1,173万円の減）
伊勢原体育寮における実食数減等による減
 - ・旅費交通費支出：6,661万円（1,386万円の減）
入試関係出張旅費、日本留学フェア出張旅費等の減
 - ・委託費支出：4億894万円（2,586万円の減）
入試関係委託費、各所管派遣業務委託費等の減
 - ・広告費支出：7億5,044万円（1,617万円の減）
入試関係広告費の企画見直し等による減
- ④借入金等利息支出は、3億2,345万円。その他の借入金等利息支出において、資金運用取引解約金が2億9,545万円となっている。
- ⑤借入金等返済支出は、予算どおりで1億2,776万円。
- ⑥施設関係支出は、予算比47.95%増の19億3,908万円（前年度比では108.00%の増）。このうち土地支出は、予算比642.00%増の7億4,200万円で、差異は神田隣接地購入による。構築物支出は、予算比8.76%増の1億3,252万円で、差異は石巻専修大学雨天体育場人工芝舗装工事等による。
- ⑦設備関係支出は、予算比20.36%増の6億5,451万円（前年度比では76.65%の増）。このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比38.91%増の3億9,045万円で、差異は、主として教育研究用コンピュータに係るリース会計処理変更等による。
- ※⑥⑦の主な内容については、後記の〔主な施設設備等整備事項〕に記載。
- ⑧資産運用支出は、予算比1.89%減の3億6,300万円。退職給与引当資産への繰入支出が5,000万円、法人基金準備資産への繰入支出が1億1,300万円、施設設備準備資産への繰入支出が2億円となっている。

- ⑨その他の支出は、前期末未払金支払支出、前払金支払支出等で9億1,289万円。予備費の使用額はない。また、資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で13億1,701万円。

〔主な施設設備等整備事項〕

専修大学

- ①神田隣接地購入
- ②神田トイレ改修
- ③神田・生田教育研究用コンピュータ更新
- ④神田2号館教室照明改修
- ⑤生田4号館新学部関係改修
- ⑥生田11号館（心理学棟）新築
- ⑦生田食堂棟学生相談室設置
- ⑧生田4号館受変電設備設置
- ⑨生田西グラウンド法面ゴルフ練習場設置
- ⑩130年記念事業黒門設置

石巻専修大学

- ①中央監視装置更新
- ②教育研究用コンピュータ更新
- ③雨天体育場人工芝舗装

専修大学北海道短期大学

- ①教育研究用コンピュータ関連

2 消費収支計算書

〔概要〕

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債とされない収入）が予算比0.29%増の262億2,349万円となった〔前年度比では0.55%（1億4,326万円）の増〕。基本金組入額合計が、予算比8.51%増の22億1,022万円（前年度比では96.45%の増）となり、消費収入の部合計は予算比0.41%減の240億1,327万円〔前年度比では3.77%（9億4,188万円）の減〕となった。

基本金組入額合計の内訳

- 第1号基本金 22億1,022万円（当年度取得資産及び借入金返済等の組入額）
- 第2号基本金 当年度組入額なし（将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額）
- 第3号基本金 当年度組入額なし（学術奨励基金引当資産等の組入額）
- 第4号基本金 当年度組入額なし（恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額）

消費支出の部では、消費支出の部合計が予算比0.90%減の258億6,004万円〔前年度比では1.64%（4億1,699万円）の増〕。

当年度消費収支差額は、18億4,677万円の消費支出超過額（前年度は4億8,790万円の消費支出超過額）となった。前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、182億2,955万円となっている。

消費収支計算書（概要） 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで （単位：千円）

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	20,760,143	20,792,334	△ 32,191
手数料	987,110	1,145,751	△ 158,641
寄付金	579,400	444,274	135,125
補助金	2,181,059	2,096,759	84,299
資産運用収入	521,056	537,571	△ 16,515
資産売却差額	1,489	1,489	△ 0
事業収入	541,131	533,640	7,490
雑収入	576,851	671,675	△ 94,824
帰属収入合計	26,148,239	26,223,497	△ 75,258
基本金組入額合計	△ 2,036,817	△ 2,210,225	173,408
消費収入の部合計	24,111,422	24,013,271	98,150

資金収支計算書における
収入の部と共通の科目
(寄付金は現物寄付金等を含んでいる)

計画的組入が可能なのは、
第2号基本金と第3号基本金

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	14,263,258	14,394,513	△ 131,255
教育研究経費	9,055,978	8,832,321	223,656
管理経費	2,279,520	2,196,203	83,316
借入金等利息	323,451	323,450	0
資産処分差額	22,626	113,559	△ 90,933
[予備費]	(0)		150,000
	150,000		
消費支出の部合計	26,094,833	25,860,047	234,785
当年度消費支出超過額	1,983,411	1,846,776	
前年度繰越消費支出超過額	16,382,776	16,382,775	
翌年度繰越消費支出超過額	18,366,187	18,229,551	

資金収支計算書の同科目のうち、
退職金支出に代わり
退職給与引当金繰入額が加わる

資金収支計算書の同科目に
施設・設備の当期減価償却額が加わる

資金収支計算書の同科目に
施設・設備の当期減価償却額が加わる

消費収支計算書特有の科目。
固定資産等の除却損等を計上している。

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

〔 内 容 〕

※前記の資金収支計算書と共通の科目があるので、消費収支計算書特有のものについて説明。

(1)消費収入の部

①寄付金は、予算比23.32%減の4億4,427万円（前年度比では1.17%の増）。

この中には、現物寄付金等が含まれている。

内訳 受贈および編入図書 2億1,574万円
その他の受贈資産 1,199万円

②資産売却差額は、有価証券売却差額で、予算比0.04%増の148万円。

(2)消費支出の部

①人件費は、予算比0.92%増の143億9,451万円（前年度比では2.45%の増）で、退職給与引当金繰入額9億6,708万円を含んでいる。

②教育研究経費は、予算比2.47%減の88億3,232万円（前年度比では1.74%の増）で、減価償却額22億7,416万円を含んでいる。

③管理経費は、予算比3.66%減の21億9,620万円（前年度比では0.85%の減）で、減価償却額2億5,932万円を含んでいる。

④資産処分差額は、予算比401.90%増の1億1,355万円（前年度比では9.60%の減）。

固定資産処分差額内訳

土地 16万円

（石巻専修大学校地の一部を石巻市へ寄贈したことによる土地処分差額）

建物 7,410万円

（生田1号館・4号館施設設備改修等の建物及び建物付属設備処分差額）

構築物 617万円

（体育授業用生田ゴルフ練習場、クレーテニスコート等の構築物処分差額）

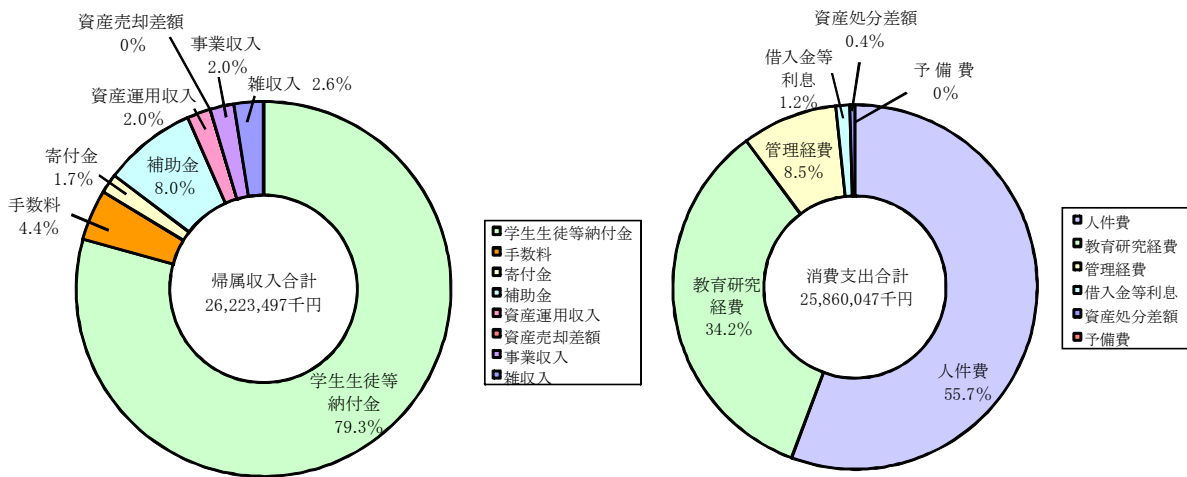
教育研究用機器備品 2,480万円（2,110点）

管理用機器備品 157万円（19点）

図書 671万円（3,382冊）

(表1)

平成21年度 消費収支決算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (決算)
人件費比率	人件費 / 帰属収入	54.10 % (51.3 %)	53.26 % (52.0 %)	53.34 % (51.4 %)	53.87 % (52.8 %)	54.89 %
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	69.17 % (70.7 %)	69.20 % (71.3 %)	68.42 % (71.7 %)	66.54 % (72.3 %)	69.23 %
教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	30.37 % (28.5 %)	30.61 % (29.3 %)	33.34 % (29.7 %)	33.29 % (31.0 %)	33.68 %
管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	5.67 % (8.5 %)	6.79 % (8.5 %)	8.44 % (8.7 %)	8.49 % (9.9 %)	8.37 %
帰属収支差額比率	帰属収入 - 消費支出 / 帰属収入	9.27 % (9.6 %)	7.86 % (8.0 %)	△ 1.35 % (7.4 %)	2.44 % (0.2 %)	1.39 %

備考 ()内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

3 貸借対照表

貸借対照表は、平成22年3月31日現在の資産、負債、基本金等の状況を前年度末と対比させて表示している。

貸借対照表 平成22年3月31日

(単位：千円)

資 産 の 部				
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増	減
固 定 資 産	119,567,792	119,264,162		303,630
有 形 固 定 資 産	87,762,230	87,587,942		174,288
土 地	27,937,519	27,195,686		741,833
建 物	40,587,620	41,673,629	△	1,086,009
構 築 物	2,385,912	2,421,446	△	35,534
機 械 装 置	82,981	90,013	△	7,031
教育研究用機器備品	1,806,217	1,694,288		111,928
管理用機器備品	240,349	259,634	△	19,284
図 書	14,707,720	14,242,128		465,592
車 両	9,100	11,114	△	2,014
建設仮勘定	4,809	0		4,809
その他の固定資産	31,805,562	31,676,219		129,342
電 話 加 入 権	19,003	19,003		0
温 泉 利 用 権	7,000	7,000		0
有 価 証 券	769,691	969,691	△	200,000
教 職 員 貸 付 金	18,651	32,249	△	13,597
北 上 学 園 貸 付 金	24,000	32,000	△	8,000
玉 名 学 園 貸 付 金	0	12,000	△	12,000
敷 金 ・ 保 証 金	2,216	2,276	△	60
退 職 給 与 引 当 資 産	3,450,000	3,400,000		50,000
法 人 基 金 準 備 資 産	6,138,000	6,025,000		113,000
施 設 設 備 準 備 資 産	18,700,000	18,500,000		200,000
第 3 号 基 本 金 引 当 資 産	2,677,000	2,677,000		0
流 動 資 産	11,685,699	11,091,906		593,792
現 金 預 金	10,722,535	8,307,764		2,414,771
未 収 入 金	616,741	435,938		180,802
仮 払 金	145,040	2,137,609	△	1,992,569
前 払 金	164,572	180,849	△	16,276
短 期 貸 付 金	36,809	29,745		7,064
資 産 の 部 合 計	131,253,492	130,356,068		897,423

減価償却資産については、
減価償却累計額控除後の価額。
有形固定資産の減の要因は、
減価償却、除却等による。

神田隣接地購入等による増加

種類

- ・ 学術奨励基金引当資産
- ・ 相馬学術奨励基金引当資産
- ・ 校友会研究奨励基金引当資産
- ・ 神山奨学基金引当資産
- ・ 川島記念学生表彰基金引当資産
- ・ キャンパス等緑化基金引当資産
- ・ 今村学術奨励基金引当資産
- ・ 下田奨学基金引当資産

負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	5,339,309	5,364,959	△	25,650
長期借入金	449,930	577,690	△	127,760
長期未払金	102,109	0		102,109
退職給与引当金	4,787,269	4,787,269		0
流動負債	6,494,258	5,934,635		559,623
短期借入金	127,760	127,760		0
短期未払金	1,053,059	757,329		295,730
前受金	4,423,026	4,244,645		178,381
預り金	890,413	804,901		85,511
負債の部合計	11,833,568	11,299,594		533,973
基本金の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
第1号基本金	133,143,475	130,933,249		2,210,225
第3号基本金	2,677,000	2,677,000		0
第4号基本金	1,829,000	1,829,000		0
基本金の部合計	137,649,475	135,439,249		2,210,225
消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 18,229,551	△ 16,382,775	△	1,846,776
消費収支差額の部合計	△ 18,229,551	△ 16,382,775	△	1,846,776
科目	本年度末	前年度末	増減	
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	131,253,492	130,356,068		897,423

日本私立学校振興・共済事業団からの借入金(平成27年度が返済期限)

借入金の平成21年度返済額

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

(1) 資産の部

資産の部では、固定資産が前年度末より3億363万円増の1,195億6,779万円。このうち、有形固定資産が神田隣接地等の土地購入、また教育研究用機器備品等において、リース会計処理の変更等により、前年度末より1億7,428万円増の877億6,223万円。なお建設仮勘定の増は、神田3号館照明設備改修に伴う設計業務による。その他の固定資産は、退職給与引当資産、法人基金準備資産、施設設備準備資産等の増により前年度末より1億2,934万円増の318億556万円。

流動資産は、現金預金及び未収入金の増で、前年度末より5億9,379万円増の116億8,569万円。

資産の部合計は、前年度末より8億9,742万円増の1,312億5,349万円となっている。

(2) 負債の部

負債の部では、固定負債が長期借入金の減で前年度末より2,565万円減の53億3,930万円。

流動負債は、短期未払金及び前受金の増で前年度末より5億5,962万円増の64億9,425万円。負債の部合計は、前年度末より5億3,397万円増の118億3,356万円となっている。

(3) 基本金の部

基本金の部では、第1号基本金が前年度末より22億1,022万円増の1,331億4,347万円。第3号基本金及び第4号基本金は、前年度末と増減がなく、それぞれ26億7,700万円と18億2,900万円。

基本金の部合計は、前年度末より22億1,022万円増の1,376億4,947万円となっている。

(4) 消費収支差額の部

消費収支差額の部合計は、消費収支計算書末尾の金額と同額で182億2,955万円の消費支出超過額となっている。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は、1,194億1,992万円となっている。

4 学校法人が作成する計算書類について

【資金収支計算書】

1. 目的(学校法人会計基準第6条)

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金(現金、当座預金、普通預金等)の収入及び支出の顛末を明らかにする。

2. 特色

- ①期中の資金の増減を科目に区分して記載し、前年度繰越支払資金と次年度繰越支払資金を加えたもの。
- ②前受金・未収入金の収入項目、前払金・未払金の支出項目については、前期もしくは翌期に実際の入出金がある場合でも、当期の収入、支出項目として計上し、資金収入調整勘定、資金支出調整勘定でマイナスして入出金を取り消す。

【消費収支計算書】

1. 目的(学校法人会計基準第15条)

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにする。

2. 特色

- ①消費収入は、当該会計年度の帰属収入(学校法人の負債とされない収入＝学生生徒等納付金、手数料、補助金など)から基本金(※別記)に組み入れる額を控除して計算する。
- ②消費支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び用役(社会に役立つ働き)の対価に基づいて計算する。

【消費収支計算書と資金収支計算書の相違点】

1. 資産・負債の増減取引除外

資金収支計算書上の「資産・負債の増減となる取引」は消費収支計算書から除外され、貸借対照表に反映される。

- 借入金等収入、前受金収入、貸付金回収収入、前期末前受金、前年度繰越支払資金、退職金支出、借入金等返済支出、施設関係支出、資産運用支出、前期末未払金支出、期末未払金、次年度繰越支払資金など

2. 消費収支固有の取引仕訳

資金の動きは伴わないが、当年度の消費支出となる資産の消費或いは用役の収受、及び消費収入とみなされるものを、消費収支計算書に追加する。

- 現物寄付金、基本金組入額合計、退職給与引当金繰入額、減価償却費など

【貸借対照表】

1. 目的

- ①学校法人の財政状態が健全であるかどうかの情報を提供する。
- ②教育研究のために必要な資産の保有状況を表示する。

2. 特色

- ①一会計期間の期末時点での財政(財産)状態を示す。これは期中の各取引を複式簿記の原則に従って記帳し導き出される。
- ②記載金額は期末時点の財産価値ではなく、当初の取得価額で計上されたものである(取得原価主義)。

【基本金】

学校法人会計基準第29条は「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額を基本金とする。」と規定し、基本金の種類として、第1号～第4号までが列挙されている。

- ①第1号基本金：校地、校舎、機器備品及び図書などの固定資産の取得価額
- ②第2号基本金：上記の固定資産を取得する目的で留保した預金などの資産の額
- ③第3号基本金：奨学基金、研究基金及び海外学術基金などの目的で運用する資産の額
- ④第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額

◆参考◆

「Q&A学校法人の新会計実務」

監査法人トーマツ パブリック・インダストリーグループ編／第一法規株式会社発行

「加盟大学財務状況の概要－平成20年度実績－」社団法人日本私立大学連盟



V その他の資料

1 平成21年度卒業・修了者数

(1) 専修大学

(学部)

学部	学科〔専攻〕	卒業者	
一部	経済	経済	510
		国際経済	220
	法	法律	614
		政治	117
	経営	経営	590
		商業	50
	商	マーケティング	458
		会計	214
		文	日本語日本文
		日本語学専攻	67
		日本文学文化専攻	114
		英語英米文	151
		人文	
		哲学人間学専攻	54
	歴史学専攻	84	
	環境地理学専攻	42	
	社会学専攻	89	
	心理	46	
	ネットワーク情報	ネットワーク情報	222
	一部計	3,642	
二部	経済	経済	103
	法	法律	146
	商	商業	24
		マーケティング	95
	二部計	368	
学部合計		4,010	

※平成20年度卒業延期許可者と学期末卒業者を含む。

(大学院)

研究科	専攻	修了者		
修士	経済学	経済学※	23	
		法学	10	
	文学	日本語日本文学	10	
		英語英米文学	1	
		哲学	2	
		歴史学	8	
		地理学	1	
		社会学	4	
		心理学	13	
	経営学	経営学	15	
	商学	商学	28	
		修士課程計	115	
	博士後期	経済学	経済学	0
		法学	民事法学	0
			公法学	0
文学		日本語日本文学	0	
		英語英米文学	0	
		哲学	0	
		歴史学	2	
		地理学	0	
		社会学	0	
		心理学	0	
経営学	経営学	0		
商学	商学	3		
	博士後期課程計	5		
大学院合計		120		

※修士課程経済学研究科のうち1名は、平成21年9月修了者

(専門職大学院)

研究科	専攻	修了者	
専門職学位	法務	法務	60

(2) 石巻専修大学

(学部)

学部	学科	卒業者
理工	基礎理	43
	機械工	38
	情報電子工	37
	生物生産工	60
経営	経営	279
学部合計		457

(大学院)

研究科	専攻	修了者	
修士	理工学	物質工学	4
		機械システム工学	1
		生命科学	8
	経営学	経営学	2
		修士課程計	15
博士後期	理工学	物質機能工学	0
		生命環境科学	0
	経営学	経営学	0
	博士後期課程計	0	
大学院合計		15	

(3) 専修大学北海道短期大学

(学科)

学科	卒業者
みどりの総合科学科	54
商経社会総合学科	67
農業科学科	0
合計	121

(専攻科)

専攻科	修了者
環境システム学専攻	0
農業科学専攻	0
園芸緑地学専攻	0
合計	0

2 卒業後の進路(学部・学科)

(1) 専修大学 (二部を除く)

卒業後の進路状況

※就職率は、希望者に対する比率である。

		H17	H18	H19	H20	H21
就職	就職者	2,814	2,856	2,788	2,671	2,360
	就職率※	94.7%	94.4%	97.2%	95.8%	91.2%
進学	大学院進学者	140	106	105	99	105
	留学・学士入学・専門学校等進学者	140	99	70	79	86
受験準備(公務員・資格・進学等)		288	219	197	147	238

平成21年度卒業者の主な就職先

積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、東急建設(株)、(株)ニチレイフーズ、キューピー(株)、山崎製パン(株)、森永乳業(株)、(株)電通テック、図書印刷(株)、協和発酵キリン(株)大正製薬(株)、大塚製薬(株)、武田薬品工業(株)、日本パーカライジング(株)、YKK AP(株)、リンナイ(株)、NTN(株)、SMC(株)、スタンレー電気(株)、マブチモーター(株)、日本電産(株)、スズキ(株)、コクヨ(株)、任天堂(株)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、(株)バンダイ、豊田通商(株)、日本水産(株)、サントリーフーズ(株)、日本酒類販売(株)、(株)トーハン、(株)伊勢丹、(株)高島屋、(株)イトーヨーカ堂、日本銀行、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)りそなホールディングス、中央三井信託銀行(株)、野村證券(株)、大和証券(株)、第一生命保険(株)、日本生命保険(相)、三井住友海上火災保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、小田急電鉄(株)、東海旅客鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、日本通運(株)、(株)JT B法人東京、近畿日本ツーリスト(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ、KDDI(株)、東日本電信電話(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)バンダイナムコゲームス、あずさ(監)、(監)トーマツ、ヤフー(株)

小学校教員、高等学校教員(英語)、国家公務員2種(金融庁、防衛省、公正取引委員会)、国税専門官、裁判所事務官2種、皇宮護衛官、警視庁(事務1類)、東京都特別区職員1類、東京消防庁、警視庁(警察官)、自衛隊幹部候補生

(2) 石巻専修大学

卒業後の進路状況

※就職率は希望者に対する比率である。

		H17	H18	H19	H20	H21
就職	就職者	374	400	343	352	275
	就職率※	94.2%	96.2%	97.4%	95.4%	90.8%
進学	大学院進学者	19	8	15	18	19
	留学・学士入学・専門学校等進学者	4	1	5	7	14
受験準備(公務員・資格・進学等)		24	26	6	15	17

平成21年度卒業者の主な就職先

理工学部：

(株)江東微生物研究所、(株)コメリ、(株)スガテック、東北発電工業(株)、東北リコー(株)、日東ベスト(株)、日本電設工業(株)、東日本旅客鉄道(株)、フジフーズ(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)武蔵野、(株)薬王堂、(株)ユアテック、郵便事業(株)

経営学部：

(株)鐘崎、(株)カワチ薬品、(株)高速、(株)幸楽苑、(株)荘内銀行、(株)スズケン、センコン物流(株)、総合警備保障(株)、大和証券(株)、(株)ツルハ、(株)ドン・キホーテ、日本製紙クレシア(株)、日本通運(株)、東日本ハウス(株)、(株)みちのく銀行、(株)ヨークベニマル

(3) 専修大学北海道短期大学

卒業後の進路状況

※就職率及び進学率は、それぞれ希望者に対する比率である。

		H17	H18	H19	H20	H21
就職	就職者	61	70	78	56	42
	就職率※	96.8%	94.6%	98.7%	96.4%	87.5%
進学	大学進学者	198	154	106	92	66
	進学率※	100%	100%	100%	100%	100%
受験準備(公務員・資格・進学等)		0	2	5	9	5

平成21年度卒業者の主な就職先

岩見沢市、陸上自衛隊、北竜土地改良区、(株)砂子組、三鉦建設(株)、高瀬環境緑化(株)、(有)高橋造園土木、宮田木材、小国開発(株)、北一食品(株)、(株)キセキ北海道、スガノ農機(株)、(有)健農シーダー、北燃商事(株)、認定NPO法人霧多布湿原トラスト、(有)タイヤセンターカサハラ、(株)北海道産直センター、(株)大住運輸、(株)サイプレスランドスケーププランニング、(株)大学農園、(社福)博光福祉会、グループホームたんぼぼ、

平成21年度卒業者の主な編入学先

※()内は、編入学者数である。

専修大学(37名)

石巻専修大学(2名)

帯広畜産大学(2名)、北見工業大学(3名)



3 公開講座等の開講状況

専修大学神田キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
公開講座	「言語類型論とパラメータ」	4月	専修大学社会知性開発研究センター
公開講座	「ダンテ『神曲』の魅力」	5月	専修大学社会知性開発研究センター
キャリア支援公開講座	「プロフェッショナルが語る 現代ビジネス事情2009」	5月～7月	専修大学キャリアデザインセンター
公開講座	「気づかれざるバイアス:行動にひそむ心理」	6月	専修大学社会知性開発研究センター
HEIB講座 30周年記念講演会	基調講演「生活者視点の女性経営者によるブランドの再生と創生物語」及び座談会	6月	専修大学エクステンションセンター
学術講演会	「市政運営と危機管理」分権時代における市政運営の課題と国、県の役割」	7月	専修大学法学部
高校生のための 経営学実践講座	夢をカタチにする挑戦 「ステキなハンバーガーショップをプロデュースしよう！」	7月	専修大学経営学部
公開講座	「ヨーロッパ芸術の魅力」	7月	専修大学社会知性開発研究センター
共同公開講座	「中小企業のリスクマネジメント」	7月	*東京信用保証協会 *専修大学大学院商学研究科
公開講座	「チョーサーとイタリア文学」	9月	専修大学社会知性開発研究センター
創立130周年記念歴史展示	「創立者同時代展」	9月～10月	専修大学
政策科学シンポジウム	「世界大不況と日本の行方」	10月	専修大学大学院経済学研究科
公開講座	「チョーサーとラングランド」	10月～11月	専修大学社会知性開発研究センター
大学院公開講座	PART 1 「現代日本政治の「光」と「影」」 PART 2 「変貌する日本経済とその展望:危機を超えて」	10月～12月	専修大学大学院
公開講座	「旅ー人間はどんなたびをしてきたかー」	10月～12月	専修大学人文科学研究科
創立130年・人間科学部開設・ 文学部改組記念シンポジウム	「生きづらさのゆくえ」	11月	専修大学
学術講演会	「パキスタンのテロとの闘い」	11月	専修大学法学部
公開シンポジウム	「経営者の意思決定とリスクマネジメント ー研究者と実務家による リスクマネジメント問題の検討ー」	11月	専修大学商学研究科
シンポジウム	「古代東アジアの交流と留学生」	11月	専修大学社会知性開発研究センター
共同公開講座	「中小企業の成長戦略」	11月	*東京信用保証協会 *専修大学大学院商学研究科
シンポジウム	社会関係資本の多様な構築ー東アジアの持続的発展に向けてー	12月	専修大学社会知性開発研究センター
シンポジウム	「大逆事件と知識人」	2月	専修大学今村法律研究室

専修大学生田キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
特別展示	月岡芳年展 描く	4月	専修大学図書館
公開講座	The 寺子屋Ⅶ「近世・近代の古文書を読む」	5月～6月	専修大学エクステンションセンター
公開講座	国際金融危機と新興国	5月～7月	専修大学経済学部
スポーツ実践公開講座	「中高年の健康を考える」	5月～12月	専修大学社会体育研究所
特別展示	ベルンシュタイン文庫に『フランス革命と暴力』関連史料を求めて	6月	専修大学図書館
国際交流特別講演会	「やさしい英語による経済学講座」	6月～7月	専修大学国際交流センター
公開講演会	「地震災害の予測と対策」	7月	専修大学自然科学研究所
公開講座	「遣隋・遣唐留学生と日本文化」	7月	専修大学社会知性開発研究センター
公開セミナー	「高校生のための英語学習法」	7月	専修大学文学部
高校教員対象研修プログラム	国語、英語、倫理、世界史・日本史、地理、現代社会	7月	専修大学文学部
特別展示	古地図を楽しむ	7月	*専修大学図書館 *専修大学文学部
公開講座	歴史を紐とく「古代東アジア世界と日本・中国」	9月～10月	専修大学エクステンションセンター
人文セミナリオ	1. マスコミをめざすなら、まずは歩き出せ 2. 紅のミュージアムにおける学芸員 3. シネマ・エッセイストという仕事	10月	専修大学文学部
公開講座	『メディアの過去・現在・未来』	10月	専修大学文学部
講演会	「私の営業活動ーすべては1枚の注文書からー」	10月	専修大学経営研究所
特別講演会	「不況克服への経営変革の体系的な方法」	10月	専修大学会計学研究所
専修大学心理教育相談室新設 記念講演会	「心理臨床と心理査定」心理臨床のこれから」	10月	専修大学心理教育相談室
創立130周年記念歴史展示	「創立者同時代展」	10月～11月	専修大学
特別講演会	「国際会計基準導入と会計監査の課題」	11月	専修大学会計学研究所
創立60周年記念 公開シンポジウム	今、なぜ『資本論』なのか?」	11月～12月	専修大学社会科学研究所
国際交流特別講演会	やさしい英語による経済学講座	11月～12月	専修大学国際交流センター
公開シンポジウム	「スポーツの価値とはなにか」～学生と考える、スポーツの未来像～	12月	専修大学社会体育研究所

専修大学サテライトキャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
特別講演会	「川崎市の新商業ビジョン」	7月	専修大学大学院経済学研究所
定例研究会(一般公開)	「フランスと東アジア諸地域における近現代学芸の共同主観性に関する研究」	7月	専修大学社会科学研究所
創立130年記念歴史展示	「創立者同時代展」	10月	専修大学
公開講座 「地域と大学を結ぶセミナー」	「テレビ生活40年」	12月	専修大学経営研究所
特別講演会	「流通政策とまちづくり」	2月	専修大学大学院経済学研究所

石巻専修大学キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
みやぎ県民大学 「石巻専修大学開放講座」	未来予想図～これからの世界、そして日本～	5月～7月	石巻専修大学大学開放センター
創立20年記念事業	「絵本原画展」	10月	石巻専修大学図書館
企業経営セミナー	「小売業の現状と製造業の課題」	12月	石巻専修大学大学開放センター

専修大学北海道短期大学キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
市民公開講座	みどりの総合科学 I	4月～7月	専修大学北海道短期大学 みどりの総合科学科

学外施設で実施したもの(テーマ下枠は開催場所)

講座名	テーマ	実施期間	主催
提携講座 佐渡市文化講演の集い	『あなたもなれる裁判員』-裁判員制度早分かり- 【佐渡島開発総合センター】	5月	専修大学エクステンションセンター
提携講座 横須賀市市民大学	身近な法律-くらしの民法- 【横須賀市生涯学習センター】	5月～7月	専修大学エクステンションセンター
提携講座 北上市民大学	『世界金融危機・同時不況にどう立ち向かうか』 -「失われた十五年」の経験に学ぶ- 【北上市生涯学習センター】	8月	専修大学エクステンションセンター
提携講座 鶴岡市市民大学講座	庄内の魅力を探る～地方で心豊かに暮らそう！ 「コミュニケーションってなんだろう？-そのわかりにくさと可能性-」 【鶴岡市中央公民館】	11月	専修大学エクステンションセンター
特別展 ※注1	二つのモダン-江戸文化とフランス革命- 【東京芸術劇場】	11月	専修大学図書館
創立130年記念歴史展示 ※注1	「創立者同時代展」 【東京芸術劇場】	11月	専修大学
学都仙台コンソーシアム・ サテライトキャンパス公開講座	「まち」とはなにか。一緒に考えましょう。 【学都仙台サテライトキャンパス(仙台市市民活動サポートセンター)】	12月	石巻専修大学
学都仙台コンソーシアム・ サテライトキャンパス公開講座	暗号技術の話-古代ギリシャ・ローマから現代へ- 【学都仙台サテライトキャンパス(仙台市市民活動サポートセンター)】	12月	石巻専修大学
共同企画展	駒井重格の軌跡～専修大学の創立者、一橋の名校長～ 【桑名市博物館】	12月～1月	*桑名市博物館 *一橋大学 *専修大学

注1:特別展「二つのモダン-江戸文化とフランス革命-」及び創立130年記念歴史展示「創立者同時代展」は、同時開催した。

4 平成21年度学費

(1) 専修大学

入学金 一部 260,000円 二部 130,000円 大学院・専門職大学院 200,000円

学部一部(ネットワーク情報学部を除く)

(単位:円)

ネットワーク情報学部

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
	授業料	第1年度	675,000	675,000	675,000
	第2年度	675,000	675,000	675,000	675,000
	第3年度	675,000	675,000	675,000	675,000
	第4年度	675,000	675,000	675,000	675,000
施設費	各年度	200,000	200,000	200,000	200,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
	授業料	第1年度	825,000	825,000	825,000
	第2年度	825,000	825,000	825,000	825,000
	第3年度	825,000	825,000	825,000	825,000
	第4年度	825,000	825,000	825,000	825,000
施設費	各年度	230,000	230,000	230,000	230,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

学部二部

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
	授業料	第1年度	405,000	405,000	405,000
	第2年度	405,000	405,000	405,000	405,000
	第3年度	405,000	405,000	405,000	405,000
	第4年度	405,000	405,000	405,000	405,000
施設費	各年度	100,000	100,000	100,000	100,000
実験実習料	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

大学院修士課程

(エコ/トリックス・コースを除く)

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度
	授業料	第1年度	470,000
	第2年度	470,000	573,000
施設費	各年度	120,000	160,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000

経済学研究科経済学専攻修士課程

エコ/トリックス・コース

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度
授業料		800,000
施設費		160,000
教育充実費		50,000
実験実習料		5,000
学会費		2,000

大学院博士後期課程

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
	授業料	第1年度	450,000	495,000
	第2年度	450,000	495,000	495,000
	第3年度	450,000	495,000	495,000
施設費	各年度	120,000	130,000	130,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000

専門職大学院法務研究科(法科大学院)法務専攻

(単位:円)

費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
	授業料	第1年度	950,000	950,000
	第2年度	950,000	950,000	950,000
	第3年度	950,000	950,000	950,000
施設費	各年度	260,000	260,000	260,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000

(2) 石巻専修大学

入学金 学部 230,000円 大学院 200,000円

理工学部 (単位:円)					経営学部 (単位:円)						
費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
	授業料	第1年度	968,000	968,000	968,000		968,000	授業料	第1年度	673,000	673,000
	第2年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第2年度	673,000	673,000	673,000	673,000
	第3年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第3年度	673,000	673,000	673,000	673,000
	第4年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第4年度	673,000	673,000	673,000	673,000
施設費	各年度	260,000	260,000	260,000	260,000	施設費	各年度	210,000	210,000	210,000	210,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000	80,000	80,000	実験実習料	各年度	20,000	20,000	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000	学会費	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000

大学院修士課程

(理工学研究科) (単位:円)				(経営学研究科) (単位:円)			
費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	費目	入学年度	平成21年度	平成20年度
	授業料	第1年度	953,000		953,000	授業料	第1年度
	第2年度	953,000	953,000		第2年度	658,000	658,000
施設費	各年度	260,000	260,000	施設費	各年度	210,000	210,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000	実験実習料	各年度	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000	学会費	各年度	3,000	3,000

大学院博士後期課程

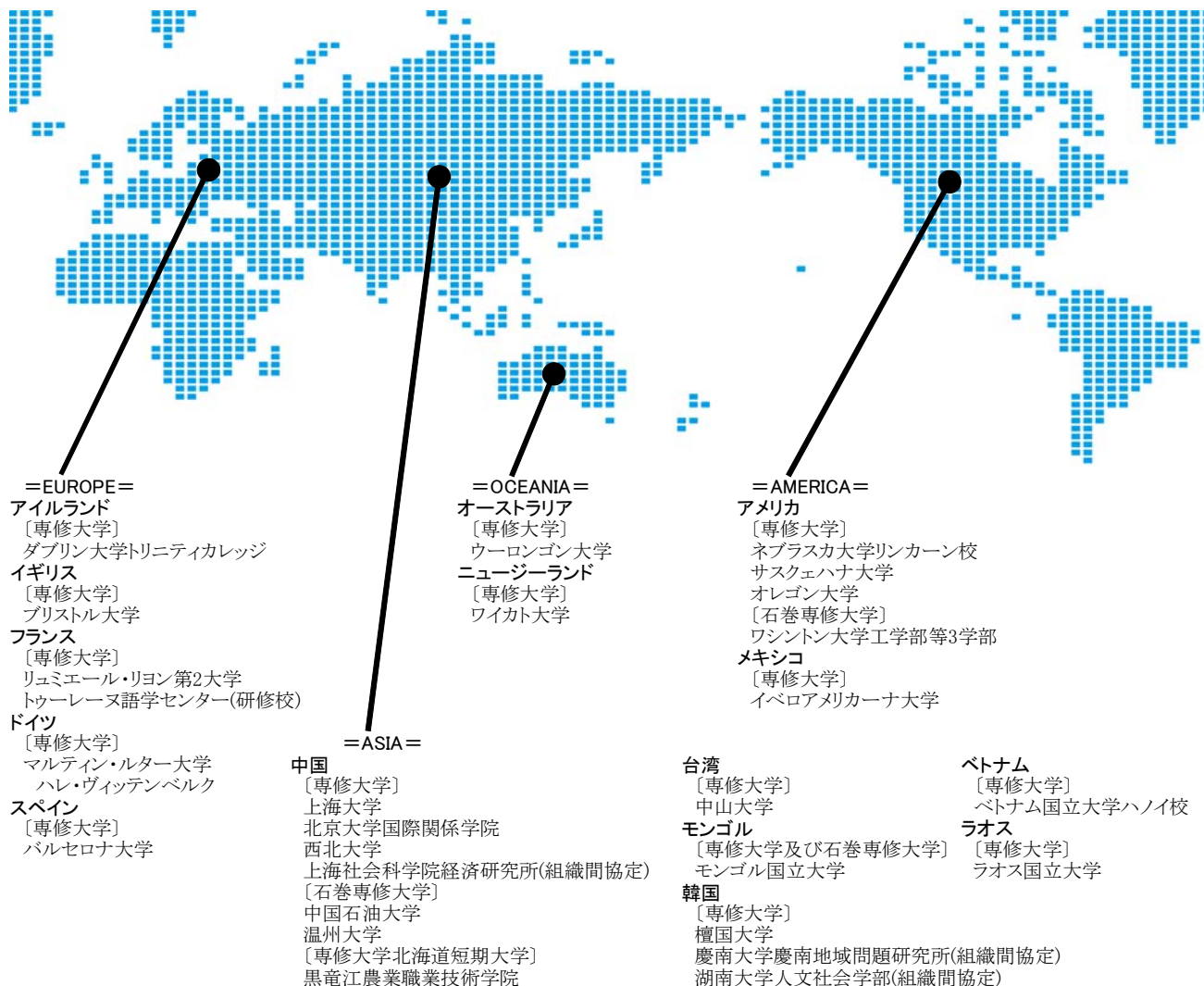
(理工学研究科) (単位:円)					(経営学研究科) (単位:円)				
費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	費目	入学年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
	授業料	第1年度	774,000	774,000		774,000	授業料	第1年度	534,000
	第2年度	774,000	774,000	774,000		第2年度	534,000	534,000	534,000
	第3年度	774,000	774,000	774,000		第3年度	534,000	534,000	534,000
施設費	各年度	180,000	180,000	180,000	施設費	各年度	130,000	130,000	130,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000	80,000	実験実習料	各年度	20,000	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000	3,000	学会費	各年度	3,000	3,000	3,000

(3) 専修大学北海道短期大学

入学金 200,000円

みどりの総合科学科 (単位:円)			商経社会総合学科 (単位:円)		
費目	入学年度	平成21年度	費目	入学年度	平成21年度
	授業料	第1年度		750,000	授業料
	第2年度	750,000		第2年度	640,000
施設費	各年度	200,000	施設費	各年度	200,000
実験実習料	各年度	140,000	実習料	各年度	20,000
学会費	各年度	3,000	学会費	各年度	3,000

5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校(平成22年3月31日現在)



6 付属校

学校法人専修大学附属高等学校	〒168-0063 東京都杉並区和泉4-4-1
(設置校)専修大学附属高等学校	
学校法人専修大学松戸高等学校	〒271-8585 千葉県松戸市上本郷2-3621
(設置校)専修大学松戸高等学校, 専修大学松戸中学校, 専修大学松戸幼稚園	
学校法人北上学園	〒024-8508 岩手県北上市新穀町2-4-64
(設置校)専修大学北上高等学校, 専修大学北上福祉教育専門学校, 専修大学北上幼稚園	
学校法人玉名学園	〒869-0293 熊本県玉名市岱明町野口1046
(設置校)専修大学玉名高等学校	



Devoted to the Development
of Socio-Intelligence

SENSHU
UNIVERSITY